

神奈川県立工科大学広報

KANAGAWA
INSTITUTE
OF
TECHNOLOGY

Kait

No.159

平成22年度 入学式挙行

スタートから3ヶ月～科学的素養をもつ管理栄養士をめざして～
栄養生命科学学科の
「学び」は今。

News&Topics

高校別在学学生数一覧

平成22年度入学試験結果

学科TOPICS

今号の表紙

青々とした芝生が広がる中央緑地公園は
学生たちの憩いの場所です。



理事長
中部 謙一郎

理事長ごあいさつ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

また、保護者の皆様にも心からお祝いを申し上げます。

入学式当日は、公務ご多忙の中、日頃お世話になっております神奈川県知事松沢成文先生と、神奈川県から国政でご活躍の、衆議院議員勝又恒一郎先生にも、ご出席をいただき、ご祝辞を頂戴いたしました。

また、多くの企業関係、スポーツ関係のご来賓が、年度始めのご多忙の時期にもかかわらずご臨席いただき、心より御礼申し上げます。

本学は、この4月に開設いたしました「栄養生命科学科」を加え、現在、4学部11学科の教育体制により、常に時代を先取りしながら、「科学技術創造立国」を根本（こんぽん）から支える人材の育成に努めています。

教育環境の整備充実という面からは、平成16年度からスタートしたキャンパス再開発により、多くの新しい施設が完成するとともに、新しい神奈川工科大学が誕生しました。来る2013年には、学園創立50周年を迎える予定です。

現在、世の中は金融危機を背景とする厳しい環境となっておりますが、就職におきましても、本学は卒業後も含め、全面的な支援を行っております。

このような時期に入学された皆さんは、今こそ、最新の施設設備と、「すべては学生のために」をモットーとする面倒見の良い教職員のもとで、じっくりと勉強し、『創意工夫』と『イノベーション』をいつも心において、日本の新しい未来を切り開く原動力になっていただきたいと思っております。

感受性の鋭い皆さんは、これからの学生生活で、いろいろと悩むこともあると思いますが、本学は全教職員を挙げて、皆さんの相談に応じます。理事長室も、いつも開けて待っています。

皆さんが、神奈川工科大学を卒業されるときに、本学へ入学して本当によかったと思っただけのように、私共経営陣、教職員一同、最善を尽くす所存です。

本学での学生生活が、皆さんの生涯において、最も楽しく、最も意義のある時間となりますことを心から願って、お祝いのごあいさついたします。

平成22年度 神奈川工科大学

入学式 挙 行

2010.4.4

平成22年度入学式
パシフィコ横浜・国立大ホールに於て





学長
小宮 一三

学長よりのメッセージ

平成22年度入学生

学部

工学部

機械工学科	157名
(うち、航空宇宙学専攻)	30名
電気電子情報工学科	98名
応用化学科	106名

創造工学部

自動車システム開発工学科	83名
ロボット・メカトロニクス学科	86名
ホームエレクトロニクス開発学科	50名

応用バイオ科学部

応用バイオ科学科	146名
栄養生命科学科	47名

情報学部

情報工学科	176名
情報ネットワーク・コミュニケーション学科	130名
情報メディア学科	196名

大学院工学研究科

博士前期課程

機械工学専攻	19名
電気電子工学専攻	16名
応用化学専攻	25名
機械システム工学専攻	19名
情報工学専攻	59名
ロボット・メカトロニクスシステム専攻	21名

博士後期課程

電気電子工学専攻	4名
情報工学専攻	1名

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
学生時代はこれからの長い人生の準備期間でもあり、また人間形成の重要な時期でもあります。いま皆さんが持っている希望やエネルギーを思う存分ぶつけて、有意義な学生生活を送っていただきたいと思ひます。

いま我々は時代の変換点にいます。ものの豊かさの追求から、心の豊かさにつながる技術に目を向けようとしています。医療、福祉、環境などの技術を安全安心な社会に役立たせていくこと、有限な資源を使い尽くすことなく、自然エネルギーに替えていくことなどが、その例です。これからの時代、このような心の豊かさにつながる技術が益々必要になり、若い皆さんの力に期待がかけられています。

本学で皆さんに力を入れてほしいことが3つあります。

第1に基礎力をしっかり身につけることです。基礎教養科目でコミュニケーションや、社会生活の基盤となる人間力を養ってください。

第2は仲間友達づくりです。サークル活動やボランティア活動、あるいは自主的な研究活動などさまざまな機会に仲間づくりをしましょう。よき友を得られることは一生の宝になります。

第3は興味(夢)を追及することです。本学は皆さんの興味を伸ばす教育プログラムや施設を用意しています。自分から積極的に行動することにより、技術の面白さがわかってきます。是非興味を追求してください。

本学は「学生本位主義の神奈川工科大学」を理念に掲げ、学生を中心に考えることを基本姿勢としています。一人ひとりがしっかりとした教育を受け、キャンパスでの楽しい学生生活を送る環境づくりに力をいれています。本学で学んでよかった、良い思い出が沢山できたと学生諸君から感謝される大学を目指しています。我々教職員はこれからの時代をつくる技術者を目指し、チャレンジする皆さんを心から応援します。

新入生諸君の今後の活躍を期待し、メッセージといたします。

スタートから3ヶ月 ～科学的素養をもつ管理栄養士をめざして～

栄養生命科学の「学び」は今。

[管理栄養士養成課程] 2010年4月開設



栄養生命科学
清瀬 千佳子 教授

高レベルの授業を通して、 管理栄養士としての基礎を修得

編集部：栄養生命科学が新学科としてスタートして約3ヶ月経ちました
が、授業の進行状況はいかがですか。

清瀬教授：はい。現在行われているのは、管理栄養士のスキル獲得のため
の基礎となる科目です。例えば、管理栄養士の仕事と役割を知り、
将来への意識づけを行う「栄養生命科学概論」、理科系基礎
としてのフィールド科目である「化学基礎」「化学基礎実験」、調
理の基本的な技術を学ぶ「調理学実習」など、多岐に渡る内容
となっています。「生化学実験」では、応用バイオのノウハウを
活かし、タンパク質の精製なども行っています。

編集部：情報系や技術系の授業はどうですか？

清瀬教授：情報技術のベースとなる「情報処理実習」を実施しています。本
学科の特徴として、理工系大学の特色を活かした情報学部や工
学部との連携教育があるのですが、それが本格的に始まるのは
2年次以降のことです。今は、本学科の母体である応用バイオ
科学部との連携をメインに、食や栄養と関係するバイオのベ
ースとなる「化学」や「生物」の基礎を学んでいる段階です。

編集部：まず基礎部分をしっかり固めて、応用へとステップアップしていく
わけですね。

清瀬教授：そうです。具体例をあげると、2年次で学ぶ「臨床栄養学」では、
病気の人への適切な栄養管理を行うのですが、そのために1年
次の「食品学」では、食品はどのような成分で構成されているの
かということや、また「生化学I、II」では生体はどのようにして生
命を維持しているのかということなど「臨床栄養学」で必要とな
る知識の基礎を学んでいます。また、2年次の「給食経営管理実
習」では、100人分ぐらいの給食を数人で献立作成や準備する
のですが、現在行っている「調理学実習」は、その時に必要な調
理技術の修得が目的でもあります。さらに、授業のレベルは1年
次といっても高いものがあり、他大学での指導の経験がある教
員からは「2、3年次レベルの授業を1年次から行っている」と驚
きの声もあがっているほどです。



食べたものがどのような過程を経て消化・吸収されていくのか、そこにはどのような化学的なメカニズムが働いている
のか。生化学実験IIは「食」のことを科学的にとらえています。

科学の知識とスキルを備えた、次代の管理栄養士の養成を目的に、
今年4月に開設された栄養生命科学科。
現在、男子19名、女子28名の計47名が、
先端機器が揃った新施設のもと、
前期のカリキュラムを受講しています。
授業内容や学科内のムード、今後の展開などを
栄養生命科学科の清瀬千佳子教授にお聞きしました。

高まる集中力、モチベーション キーワードは「コミュニケーション」

編集部：授業を受けている学生の皆さんの反応はいかがですか。

清瀬教授：非常に集中力が高く、やる気がみなぎっていますね。授業中も常
に前を見て、いい緊張感が教室を包んでいます。

編集部：クラス運営はどういった形態になっていますか。

清瀬教授：学科計47名を、23名と24名の2クラスに分け、座学は情報・
認識の共有のために2クラス合同で、実験実習は個別指導のね
らいもあってクラス毎に行っています。理工系大学ということも
あり、本学科の男女比は約4：6と、栄養学関係としては例外的
に男子が多くなっていますが、そのバランスがコミュニケーション
を育むひとつの要因にもなっていて、クラスの雰囲気もよく、
元気で一体感がありますね。それとやはり第1期生ということか
ら来る「自分たちがこの学科をつくる!」という決意が、モチベ
ーションにつながっている部分もあると思います。

編集部：教員の方からも、コミュニケーションという面でのアプローチは
意識していますか。

清瀬教授：ええ、最初にクラス担任による個人面談を実施し、一人ひとりの
目標や課題の掌握につとめました。他にもクラス委員を立てたり、
連絡網を設置し、何かあればすぐにケアできるように心がけて
います。学生側にも教員と積極的に交流しようとする姿勢が
見え、双方の距離は非常に近いものがあります。



調理学実習の授業。食品加工室での実習風景。調理学の講義で学んだ理論を、実際に調理しながら確かめ、スキルや
基礎的な知識はもちろん、科学的に見る目を養います。

専門教育、そして、 さらなる未来へ向かって

編集部：1年次後期、および2年次へ向けての展望をお聞かせください。

清瀬教授：今はまだ学科の学びの導入部分であり、全体像をつかみつつ、楽
しみながら可能性を模索する時期です。でも後期に入ると、食
品に関する実験や、微生物研究をはじめとした安全・衛生面への
考察など、2年次以降の専門教育へ向け、ステップアップした内
容の授業が始まります。その中で、それぞれの目指すべき道も、
少しずつ見えてくるだろうと思います。本学科は始まったばかり
で、その完成形に至るにはしばらく時間がかかります。しかし、
学生と教員が一緒になって、可能性にチャレンジし、進んでゆく。
その歩みの先に、確かな未来が姿をあらわすはずですよ。

施設紹介 最先端のテクノロジーを備えた管理栄養士養成施設

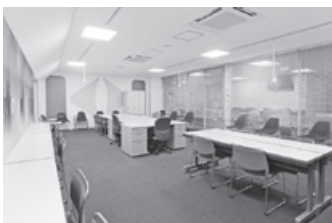


給食経営管理実習室

給食の運営・管理実習の場として使用。HACCP概念に基づいた大量調理の衛生管理マニュアルに沿った設備、新調理システム用の機器を導入。工程別にエネルギー使用量を計測できるシステムを採用しています。

臨床栄養実習室/カンファレンス室

各種人体標本、骨密度測定システムなど100点以上の機器を設置。病院における栄養サポートチーム(NST)での業務を想定し、カンファレンス室も併設。



栄養教育実習室

視聴覚機器や、糖尿病患者用など多数の栄養教育用フードモデルを配置しています。

国家試験対策室

必要十分な管理栄養士国家試験対策を行うためのベースとして設置。



調理実習・食品加工室

調理実習用のコンビネーションレンジ、デッキオープンなど約50点の設備の他、講師の調理の手さばきを映すためのモニターシステムを装備。

栄養生命科学講義室「キッチンスタジアム」

講義室後方が高くなる階段教室方式を採用。前方に実際の調理実演を直接見ることができるキッチンスタジアム機能を有し、シンク、オープン、コンビネーションレンジなどが完備されています。また90席全てに実習用ノートPCを設置。

その他の施設

●生理学実験室

●理化学実験室

●動物実験室

●機器分析室

●クリーンベンチ室

●培養室

教員紹介 DEPARTMENT OF NUTRITION AND LIFE SCIENCE



五十嵐 脩 特任教授
農学博士



石川 俊次 特任教授
医学博士・医師



江指 隆年 特任教授
農学博士



清瀬 千佳子 教授
博士(学術)・管理栄養士



高橋 智子 教授
博士(学術)・管理栄養士



田中 平三 特任教授
医学博士・医師



辻 悦子 特任教授
医学博士・薬剤師



松本 邦男 教授
博士(農学)



真鍋 祐之 教授
博士(栄養学)・管理栄養士



飯島 陽子 准教授
博士(学術)



澤井 淳 准教授
博士(工学)



原島 恵美子 准教授
博士(食物栄養学)・管理栄養士



楠木 伊津美 助教
修士・管理栄養士



大森 由実 助手
修士・管理栄養士



河村 彩乃 助手
修士・管理栄養士



武藤 知衣 助手
修士・管理栄養士



山中 千恵美 助手
修士・管理栄養士



渡邊 啓介 助手
修士・管理栄養士

ITを活用した教育シンポジウム2009

(敬称略)

近年、基礎学力が充分でない、また学習意欲や職業意識の低い学生が増えつつあること等から、教育のための新しい手法や工夫に対する関心が社会的に高まっています。

そこで、さまざまな大学で教育効果を上げるため、e-Learning等、IT技術を活用した教育法の研究や実践等がなされ、最近の学生の学習状況に対応して、IT技術を教育に積極的に活用して効果をあげたり、従来は難しかったことも教育の現場で扱えるようになるなどの成果も報告されています。

この教育に関する研究や実践について、発表・討議し、また互いに連携して更なる教育効果の向上に役立たせるために、「ITを活用した教育シンポジウム2009」を3月13日に開催いたしました。

今回は、東京大学・西田友是先生に「リアリティを追求するCG技術の発展と先端技術」という基調講演をお願いしました。また、67名の参加者(受付記者)があり、2つのセッションに分かれて24件の講演論文の発表が行われました。参加者の感想として「教員間でも有意義な意見交換ができました。学科内での有意義な情報交換になるので、来年度のシンポジウムに向けて準備をいたします。」などの反響が寄せられました。

また、同シンポジウムの開催案内が日刊工業新聞(3月10日付)にて掲載されました。



【セッションA】情報教育(座長:神奈川工科大学 山本 富士男)

“ケータイ”を用いた講義支援用パーソナルレスポンスシステムの開発	神奈川工科大学 田中 博
経営情報学分野の教育におけるビジネスゲームの活用とその効果～サプライチェーンマネジメント(SCM)での実践事例	静岡大学 田中 宏和
授業支援システムKBookの利用状況推移	神奈川工科大学 示野 浩士

【セッションA】情報教育(座長:神奈川工科大学 田中 博)

実践的なシステム開発を短期間で行うための環境づくり～浜松・町工場を対象にしたPBLの実践事例	静岡大学 田中 宏和
卒業研究セミナーの分析とセミナー管理システムの開発・運用	神奈川工科大学 佐藤 仁美
情報工学科の教育におけるWebサービスの活用と今後の課題	神奈川工科大学 山本富士男

【セッションB】高速ネットワーク(座長:神奈川工科大学 井上 哲理)

高校生の携帯メールとワード文章の作成能力の関連性について	県立水取高等学校 森 雅人
環境材料教育のためのWebデータベース「Eco-MCPS」	湘北短期大学 小椋 理子
IT活用による可視化画像処理と情報通信技術教育の検討ージェスチャリモコン・サーモグラフィ・ICTメディアー	神奈川工科大学 今井 幸雄

【セッションB】高速ネットワーク(座長:神奈川工科大学 今井 幸雄)

情報リテラシー発展形としての短大入学前教育「コミュニケーションリテラシー」の構築	湘北短期大学 小椋 理子
大学院遠隔連携授業における改善成果と今後課題	神奈川工科大学 井上 哲理
一般的なインターネットサービスの教育への利用について	神奈川工科大学 中嶋 龍彦

【セッションC】計算理工学(座長:神奈川工科大学 山下 福志)

ICTを活用した小中学校教員向け研修カリキュラム開発の実践	神奈川工科大学 金井 徳兼
舞台演出を通じた学科横断PBL教育の実践	湘北短期大学 本池 巧
掃除ロボットの開発をテーマとした高校大学間連携プロジェクト学習	神奈川工科大学 浅野 拓哉

【セッションC】計算理工学(座長:神奈川工科大学 金井 徳兼)

卒研およびゼミにおけるsimulationの利用	神奈川工科大学 山下 福志
計算機合成ホログラムを用いた光学素子の製作技術教育の試み	神奈川工科大学 中津原克己
RFIDを用いた設計製図の進捗把握システムの開発	神奈川工科大学 小宮 聖司

【セッションD】デジタルコンテンツ(座長:神奈川工科大学 佐藤 尚)

Flashを用いた授業支援「量子の世界」への応用	神奈川工科大学 川嶋 良章
CGプログラミング実習を活用した数学・物理 基礎教育への動機づけ	神奈川工科大学 服部 元史
最新の音声、映像分析技術の教育への利用	東京工芸大学 金子 格

【セッションD】デジタルコンテンツ(座長:神奈川工科大学 服部 元史)

メディア教育でのC#言語の効果について	神奈川工科大学 立花 康夫
リテラシー授業におけるProcessing言語を利用した演習型CG入門教育	神奈川工科大学 佐藤 尚
立体視ビデオ映像を用いたジェットエンジン構造の観察	神奈川工科大学 佐藤 智明

『2010年度夢の実現プロジェクト』13団体が採択!

学生の皆さんの「ものづくり」にかける情熱に対して、活動資金を支援する制度「2010年度夢の実現プロジェクト」のプレゼンテーションが5月19日に行われました。

その結果、13団体の採択が決定。採択された団体は今後、ものづくり活動を行い、11月の学園祭では活動報告(ポスターセッション)を実施し、来年2月には、採択されてからの活動報告書と決算報告書をまとめます。また、学園祭終了後には活動報告のポスターはそのままKAIT工房に展示されます。



KAIT工房で行われたプレゼンテーションの様子



学園祭では活動報告のポスターを展示する



平成21年度『ハイアクティビティ賞』『課外活動賞』『表彰状授与式&懇談会』開催

本学では、課外活動などにおいて活躍した学生を対象に、独自の表彰制度を設けています。

4月8日、平成21年度の受賞者に対する表彰状授与式、そして初の試みとして、小宮学長の同席のもと、表彰者懇談会が開かれました。たくさんの笑顔が咲いた喜びの時間をレポートします。

たしかな成果に、誇りを刻んで—。賞賛の拍手に包まれた授与式。

4月8日、情報学部棟の202教室に、平成21年度の「ハイアクティビティ賞」および「課外活動賞」の受賞者が一堂に集いました。受賞者数は、先立って行われた卒業式で、ひとあし早く賞を授与された卒業生を除いた約161名。分野を問わず、幅広い課外活動において成果をあげた学生を表彰する「ハイアクティビティ賞」は個人8名、10団体の計88名、主にクラブ活動における成果を表彰する「課外活動賞」は個人4名、3団体の計35名の学生が受賞しました。

最優秀ハイアクティビティ賞に始まり、ハイアクティビティ賞の団体表彰、個人表彰、続いて課外活動賞の順に、小宮学長から一人ひとりに、賞状と記念のオブジェが手渡されます。会場を包むあたたかい拍手に、緊張の面持ちだった受賞者の皆さんの顔にも、どこか誇らしげな笑顔が浮かんでいました。

授与が終わり、壇上から小宮学長がメッセージを贈ります。「覚えきれないくらいの多彩な分野での成果に、あらためて驚いています。学業だけでなく、こうした幅広いフィールドでの皆さんの活躍が、本学にとっての大きなエネルギーになります。これをひとつのステップとして、ますます躍進されることを期待しています」。その言葉に、さらなる可能性をめざすべく、会場の空気がピンと張りつめるのを感じました。



受賞者一人ひとりに賞状とオブジェが手渡されます。



激励のメッセージを贈る小宮学長

ふれあいの輪が広がった懇談会 学長との語らいに、志もあらたに。

授与式の後は、12階のカフェテリアに場所を移しての表彰者懇談会。学生の代表と小宮学長も同席のもと、ウーロン茶での「乾杯!」の発声からなごやかに始まりました。途中、出席者が順番に受賞理由やポイントを、マイクを手に説明します。プログラミングコンテスト準優勝を評価され、最優秀ハイアクティビティ賞に輝いたチームの代表者の方は、「構想をソフトウェアとして実装するのが難しかった。形になるまで半年かかった」と振り返りました。

他にも、キャンドルナイト実行委員会の学生の、寒さで人を集めるのに苦労したエピソードや、学校が元気になるよう頑張りたいと練習に打ち込むチアダンス部キャプテン、さらには自転車で鹿児島まで行った人、モバイルコンテンツとしてケータイ小説を書いた人など、印象的な話の数々に皆聞き入っていました。

おいしい料理に受賞者と小宮学長の会話も弾みます。学長に初めての試みである懇談会の感想をお聞きすると「学生本位主義という本学の方針の、ひとつの実践としての試みでしたが、こういう場を設けることで、学生の方も話しやすくなるし、私も聞きやすい。今後も継続して交流の機会を増やしていきたいですね」との言葉が返ってきました。学生の方からも「緊張したけど学長と話せて良かった」「活動が評価されるのはもちろん、学長の前でその内容を発表できたのがうれしかった」「学長とだけでなく、受賞者同士で話げたのも楽しかった」との喜びの声が多数聞かれました。

いくつもの笑顔の花が咲いたふれあいの場は、小宮学長を囲んでの記念撮影でお開きとなりました。



それぞれが受賞理由や活動のポイントを説明します。



受賞者と談笑する小宮学長



最後に小宮学長を囲んでの撮影

ハイアクティビティ部門

■最優秀ハイアクティビティ賞

(団体表彰)

「team melonpan」 2名

■ハイアクティビティ賞

(団体表彰)

「流れのふしぎ展ボランティアスタッフ」…………… 21名
「メディア工房管理委員会」…………… 15名
「神奈川工科大学開成あじさい祭調査チーム」…………… 9名
「LED蛍光灯を普及させる学生グループ」…………… 3名
「『神奈川工科産学チャレンジプログラム』小出チーム」…………… 3名
「『神奈川工科産学チャレンジプログラム』原谷チーム」…………… 6名
「Stop the CO₂ プロジェクト『キャンドルナイト実行委員会』」…………… 21名
「『神奈川工科産学チャレンジプログラム』野島チーム」…………… 5名
「smile」…………… 3名

(個人表彰)

田 中 穂 識 (情報学部情報工学科4年)
平 子 久 智 (情報学部情報工学科4年)
小 路 はるか (工学部応用化学科4年)
森 史 英 (創造工学部ホームエレクトロニクス開発学科3年)
福 森 誠 (応用バイオ科学部応用バイオ科学科4年)
辻 健史郎 (応用バイオ科学部応用バイオ科学科4年)
中 村 幸 弘 (大学院博士前期情報工学専攻2年)
濱 田 南 (大学院博士前期機械システム工学専攻2年)

課外活動部門

■最優秀課外活動賞

(団体表彰)

「電気通信部」 12名

(個人表彰)

「硬式野球部」 原 口 竜 二 (情報学部情報ネットワーク・コミュニケーション学科2年)

■課外活動賞

(団体表彰)

「ボート部」 2名
「バレーボール部」 17名

(個人表彰)

「硬式野球部」 田 中 宏太朗 (情報学部情報工学科4年)
牧 陽 介 (情報学部情報ネットワーク・コミュニケーション学科4年)
「ロボット工学研究部」 須 澤 慶 太 (創造工学部ロボット・メカトロニクス学科4年)

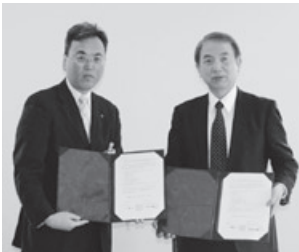


教育交流に関する協定を締結

県立相模田名高等学校と教育交流に関する協定を締結

神奈川県立相模田名高等学校との教育交流に関する協定の調印式が3月8日に本学において執り行われました。

調印式では県立相模田名高等学校の折笠初雄校長と小宮一三学長が協定書への署名を行い、今後の取り組みについての意見が交わされました。折笠校長は「技術や科学の楽しさをできるだけ早い時期に体験させ、学問へつなげたい」と今後の連携活動に期待を述べられました。

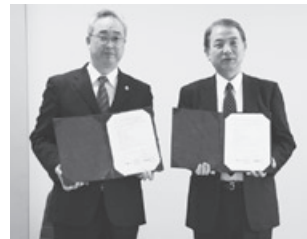


県立相模田名高等学校折笠初雄校長(左)と本学小宮一三学長(右)

県立平塚湘風高等学校との教育交流に関する協定を締結

神奈川県立平塚湘風高等学校との教育交流に関する協定の調印式が3月25日に本学において執り行われました。

調印式では県立平塚湘風高等学校の久保田啓一校長と小宮一三学長が協定書への署名を行い、今後の取り組みについての意見が交わされました。久保田校長は、「神奈川県立平塚湘風高等学校での、情報、環境、福祉などの多彩な分野の授業は、生徒の今後の進路に大変参考となる。今後お互いの発展のために更なる連携を望む。そして、これからの理系分野の力を伸ばす生徒を育てていきたい。」と今後の連携活動に期待を述べられました。



県立平塚湘風高等学校久保田啓一校長(左)と本学小宮一三学長(右)

FCV(燃料電池電気自動車)プロジェクトが「2010ワールドエコムーブ」燃料電池部門で第2位入賞(準優勝)を達成!

FCV(燃料電池電気自動車)プロジェクトが5月3日・4日、秋田県大潟村ソーラースポーツラインで開催された電気自動車・燃料電池自動車の省エネルギーレース「2010ワールドエコムーブ」(World Econo Move)の燃料電池部門に出場し、第2位入賞(準優勝)を果たしました。

本学FCVプロジェクトは、今回で3回目の参戦となります。2008年は2台出場して、第8位(約29km)と第10位(約28km)。2009年度も2台出場して、第5位(約42km)と第9位(約25km)でした。今年度は1台出場し、約61kmの記録で堂々第2位入賞(準優勝)を果たしました。まだ新しいチームですが、強豪を相手に順調に記録と順位を上げてきております。

本レースの燃料電池部門は、1周約6kmの大潟村ソーラースポーツラインのコースを、大会から支給されたポンペの水素ガス120リットルを用いて、各チームが用意した燃料電池で発電し、2時間に走行した距離を競うものです。コースはほぼ平坦な直線路です。

これまでの大会では、車両のトラブルに泣き、なかなか満足に走れない状況でした。今回は、その反省から車両システムをかなり前に完成させ、さらに2カ月前程度からテスト走行を繰り返してシステムの完成度を高めました。その結果、現地ではなんのトラブルもなく、ただ水素の使用量であるエネルギー管理のみを検討すれば良い状況となりました。前日の公式練習(予戦)でも非常に調子が良く、本戦への期待が高まっておりました。本戦ではさらにマシンの調子が良く、公式練習をさらに上回る記録を達成しました。

大学に戻ってもチームメンバーの興奮はなかなか収まらず、来年度に向けて新車両の設計をすぐに開始しました。燃料電池電気自動車は、機械設計、電子回路設計、マイコンプログラムなど多くのシステム技術を必要とするハイテクマシンです。さらなる記録達成のため、多くの皆様からのご指導、ご支援、ご協力をお願いいたします。また、全学的にチームメンバーを募集しております。チームメンバーになって優勝台に上りましょう!

(文責:自動車システム開発工学科教授/高橋良彦)



2位入賞後のチーム記念撮影



マーシャルによる記録測定



競技スタートの様子

<2010ワールドエコムーブ秋田大会燃料電池部門遠征チーム>

リーダー	今里 諒 (自動車システム開発工学科3年)
ドライバー	遠藤 智士 (自動車システム開発工学科3年)
メカニック	岩瀬 勝俊 (自動車システム開発工学科3年)
メカニック	石山 大広 (自動車システム開発工学科3年)
メカニック	西村 康孝 (自動車システム開発工学科3年)
メカニック	吉村 達矢 (自動車システム開発工学科4年)
ファカルティアドバイザー	高橋 良彦 (自動車システム開発工学科教授)

教員の活躍のACTIVITY

栄養生命科学科

田中平三教授が園遊会に出席

4月15日、天皇、皇后両陛下主催の「春の園遊会」が東京・元赤坂の赤坂御苑で開催され、本学栄養生命科学科の田中平三教授(医学博士・医師)がご夫婦で出席しました。

園遊会には、産業・文化・芸術・社会事業などの分野で功労のあった方、1924名が出席しました。



電気電子情報工学科

板子一隆准教授、森武昭副学長が論文奨励賞を受賞

電気電子情報工学科の板子一隆准教授は、6月11日、論文共著者の森武昭副学長(ホームエレクトロニクス開発工学科)とともに、第21回電気設備学会学術部門 論文奨励賞を受賞しました。受賞論文は太陽光発電システムにおける新型MPPT(最大電力点追従)制御方式に関するもので、非常に高い効率を得られるとともに、従来の実用化方式の問題点を改善する有効な方法として高く評価されました。



応用バイオ科学科

小池あゆみ准教授が高等学校理科教員対象に記念講演

5月18日、神奈川県高等学校教科研究会理科部会主催の研究大会が神奈川県公会堂において行われ、応用バイオ科学科の小池あゆみ准教授が「シャペロン/細胞内タンパク質のケアテイカー」のテーマで神奈川県内高等学校の理科教員を対象に講演を行いました。





KAIT 工房通信

KAIT ATELIER INFORMATION

2009年度のKAIT工房3賞の授与

4月12日、「2009年度工房所長表彰」が執り行われました。表彰内容は、技術的に優れた人を対象とする技術賞(4名)、工房利用回数が多い人を対象とする奨励賞(7名)、新設された努力賞(2名)の13名でロボット・メカトロニクス学科の兵頭教授(KAIT工房所長)より表彰・賞品が授与されました。同時に、4月より発行を始めた「工房受賞&ライセンスカード」が手渡され、「今後も工房を有意義に活用して下さい。」との激励を受けました。このカードは表面が受賞項目、裏面がライセンス項目で、各対象項目欄に「K印」を押印していくものです。KAIT工房利用者は、工房受付で発行されます。



2009年度受賞者の皆さんと
兵頭教授

KAIT工房 表彰カード		氏名: 神奈川花子
KAIT工房 奨励賞		K
KAIT工房 技術賞		
KAIT工房 努力賞		
ものづくり 入賞		
ものづくり 優秀賞		
ものづくり 努力賞		K

ライセンスカードには実績が押印される。

ライセンス取得表			氏名: 神奈川花子
旋盤	K	鋳造	
フライス盤		陶芸	K
3Dプリンター	K	木工旋盤	
モザイクマシン		電子回路	
レーザー加工機		ロボット	K
基板加工機	K	3Dプリンター	

新入生歓迎イベントを開催

4月中旬から5月末の間、新入生歓迎イベントとして、「①KAITグッズをゲットしよう」「②マイカップ作り(陶芸)&携帯ペンダント作り(鋳造)」を開催しました。①は、工房利用の仕方など「安全講習会」を受講した人を対象にサイコロの目で6種類のKAITグッズを選択するもので、約250名の新入生が挑戦しました。②は、いずれも「無」から「有形」を造り出す体験を通して、ものづくりの楽しさや達成感を味わって貰うことを狙いとしたイベントで約40名の新入生が参加しました。

学生のKAIT工房の見学は、常時自由ですので気軽にお入り下さい。初心者用見本作品展示や開催イベント情報なども掲示していますので、興味のあることからチャレンジして下さい。なお、次回イベントはコンテスト形式の8テーマで募集しています。



初めての陶芸体験

学生対象 競技形式イベント計画

No.	イベントコース名	製作基準	コンテスト基準	日程							
				5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
1	パルゼ飛行機	主翼長さ: 25 ~ 30cm	飛行距離又は時間								
2	そっくり陶芸作品	手づくり作品: 2式	形・重量・色彩								
3	TAIT工房ペンダント	工房と分かるデザイン	アビリティ度								
4	お釜セット(加工+陶芸)	3点セット製作	ほめ合い精度								
5	こけし人形	顔・胴一体型	形・絵の艶やかさ								
6	ライントレーサー	工房材料範囲	完走時間								
7	CAD/CAM作品	3D製品	曲面の精度								
8	大人の科学作品	お茶くみロボット	動き+改造度								

エコ活動の報告



「チャレンジ25キャンペーン」として 4月より活動開始

地球温暖化という人類の生存に関わる脅威に対して日本は、装いも新たにエコキャンペーンとして、本年4月より活動を開始しています。これは昨年9月、鳩山前首相がニューヨークの国連気候変動サミットにおいて、国家目標として温室効果ガス排出量を2020年までに1990年度比、25%の削減をすることを表明した事に起因しています。この活動を支援する為に、政府はこれまでのチームマイナス6%から「チャレンジ25キャンペーン」運動に切り替えました。この様な状況下で、本学におけるエコ活動も、政府方針に賛同するため、同運動の賛同団体として今回登録するとともに、今後のエコ活動の推進・展開を全学生・教職員総てに対して呼び掛け、実施しています。

今年度のエコ活動企画

「ECO検定」

この資格は、就職活動などでも自己アピールに役立ち、合格者には受験料(5,250円)が本学から還付されます。ぜひ在学中に資格取得を目指して下さい。必要な受験テキストや過去の問題はエコ推進室に準備され、自由に閲覧できます。

「エコ活動企画」

エコ活動企画は、毎月3回程度開催を予定しており、大学ホームページのKaitWalkerへの掲載、学内エコ掲示板および、ECO推進室前の掲示で案内しています。

「大学周りのクリーンナップ」、身近な自然とエコを楽む「鷲尾山まで歩こう!」などの新企画や、昨年も行われたキャンドルナイトなど多彩な内容で実施します。

更に、エコ活動をもっと自ら積極的に実践したい学生は、エコチーム「みどり」の活動も勤めています。自主的にエコ活動に参加でき、エコ活動の新企画の立案もできます。随時、ECO推進室で受け付けています。



キャンドルナイトの様子

大学院生対象の奨学金制度

「中部謙次郎賞」「大岐良一賞」「石原健男賞」表彰

本学大学院博士前期課程に在籍する大学院生を対象とする奨学金制度「中部謙次郎賞」、「大岐良一章」、「石原健男賞」の授与式が5月10日に学長室で行われました。

本賞は、中部謙次郎氏、大岐良一先生、および石原健男先生の三氏の生前の業績と教育奨励に対する強い思いを末永く顕彰するため、毎年、中部謙一郎理事長が個人の資金を提供し、継続している奨学金制度です。

授与式では小宮学長から、受賞者の学生に奨学金が授与されました。



平成22年度表彰

「中部謙次郎賞」受賞者 友野 達也(機械システム工学専攻)
「大岐良一賞」受賞者 長島 巧(機械工学専攻)
「石原健男賞」受賞者 佐藤 仁美(情報工学専攻)

中部謙次郎氏: 本学園前理事長。中部謙一郎理事長の実父。様々な分野で世界を担う技術者の育成に尽力。

大岐良一先生: 医療法人玉扇会前理事長。中部謙一郎理事長の岳父。これからの日本を背負う若い世代を幅広く応援。

石原健男先生: 元常任理事。大洋漁業(株)(現・(株)マルハニチロホールディングス)専務取締役から昭和52年3月に本学常任理事就任。平成元年の退任まで永く本学の発展に貢献。

名誉教授記 授与式を挙行

6月22日、情報学部棟貴賓室において、名誉教授記授与式が執り行われました。

小宮一三学長より、以下の5名の方々に名誉教授の称号が授与され、永年に亘り本学の教育・研究の分野において、多大な貢献をされたことに対し感謝の言葉が贈られました。

名誉教授記 授与者

小暮 仁 名誉教授 (元情報ネットワーク・コミュニケーション学科教授)
石井 博章 名誉教授 (元副学長 ロボット・メカトロニクス学科教授)
笹本 忠 名誉教授 (元応用バイオ科学学科教授)
穴戸 文雄 名誉教授 (元電気電子情報工学科教授)
故 井川 博行 名誉教授 (元副学長 応用化学学科教授)

井川博行元応用化学学科教授におかれましては、今年1月にご逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。尚、式典には井川房子夫人が出席されました。



高校別在学生数一覽

高校名	1年	2年	3年	4年
北海道	19	13	12	14
旭川北			1	
旭川工業			1	
旭川東栄	1			
旭川西		1		
旭川藤女子	1			
旭川明成				1
網走南ヶ丘				1
石狩南	1	1		
岩見沢東		1	1	
大麻				2
帯広北	1	1		
帯広工業			1	1
帯広緑陽	1			
北広島	1			
釧路江南				1
釧路湖陵	1			
クラーク記念国際	10	2		1
札幌光星		1	1	
札幌緑路			1	
札幌白石				1
札幌新川				1
札幌創成			1	
札幌月寒				1
札幌南		1		
札幌藻岩				1
滝川			1	
苫小牧工業				1
苫小牧南	1			
函館			1	
函館工業	3	1	2	
函館西		1		
函館東				1
紋別北				1
留萌			1	
稚内	1			
青森	8	20	11	10
青森北		3		
青森工業	1	1	1	
青森中央		2	1	1
青森戸山		2		
青森東	1	1		
青森南	1			
青森山田	1			
板柳		1		
木造		2		
黒石			1	
光星学院野辺地西		1		
三本木			1	1
三本木農業	2			
松風塾		1		
田名部		1		
鶴田		1		
東興学園		1		
東興義塾	1			1
十和田工業		2		1
八戸北				1
八戸工業		1	1	
八戸西				2
八戸南		1		2
弘前工業			1	
弘前実業			1	
弘前南	1			
三沢		1	2	1
岩手	9	12	5	11
一関工業			1	2
一関第二		2		
岩泉	1			
岩手	1		1	1
大船渡		1		1
金ヶ崎	2			
北上翔南	1			
黒沢尻工業		1		2
不来方			1	1
専修大学北上				1
千厩		1		
花巻北	1			
福岡工業			1	2
水沢	2			
宮古	1			
盛岡北	2			
盛岡工業	1			
盛岡商業			1	
盛岡中央		1		
盛岡南	3			1

高校名	1年	2年	3年	4年
宮城	3	8	16	7
石巻			1	
石巻西			1	
一迫商業		1		
気仙沼			1	
工業	1		2	
佐沼				1
塩釜			1	
仙台				1
仙台育英学園		1	2	1
仙台第一		1		
仙台第三			1	
仙台第二			1	1
仙台向山			1	
多賀城		1	1	
東北		1		
東北学院	1			
東北工業大学				2
名取北	1			
迫桜		1		
白川		1	2	
古川学園		1		1
古川工業			1	
利府			1	
秋田	23	19	13	10
秋田		1		
秋田北	1	2		
秋田工業		1		1
秋田商業	1			
秋田西	3			
秋田南	1	1		
新屋		2	3	
大館			1	
大館工業		1		1
大館国際情報学院	1			
大館鳳鳴				1
男鹿工業	1	1		
金足農業		1		
国学院	2			3
聖霊女子短期大学付属	2			
鷹巣			1	
仁賀保	1	1		
西目	1			
能代		1		1
能代工業	1			
花輪		1		
平成				1
本荘		1	1	
増田			1	1
明桜	1	1	2	1
湯沢			2	1
湯沢北	1			
由利	2	2	1	
由利工業	1	1	1	
横手城南	2			
横手清陵学院	1			
山形	18	17	4	20
小国				1
上山明新館	1		1	
九里学園		1		
蔵王	1			
寒河江工業		2	1	
酒田工業	2	1		
酒田西		1		
酒田東				1
酒田南	1			3
新庄神室産業				1
新庄東		1		1
新庄南		1		
鶴岡北	1		1	
鶴岡工業	3			5
鶴岡中央	2			1
長井工業				1
南陽	1	1		1
日本大学山形	1			1
羽黒		1		
東根工業	1			
山形工業	1	2		2
山形電波工業		1		
山本学園	1			1
米沢工業		3		
米沢興譲館	1			
米沢中央	1	1		
米沢東		1		1

高校名	1年	2年	3年	4年
福島	35	46	36	40
会津				1
会津学風		1		
会津工業	4	1	3	1
葵			1	1
安積	1			
安積黎明		1		1
磐城	1			
いわき光洋	3	2	2	3
磐城桜が丘		1		1
いわき総合			1	2
岩瀬農業	1	1	1	
小名浜				1
喜多方	3	1	3	
喜多方工業	1			1
郡山			2	1
郡山北工業	2	4	2	1
郡山東				1
尚志			2	1
白河		2	1	1
白河旭	1		1	
白河実業		1		1
聖光学院	1	3		2
清陵情報	1	1	1	1
相馬	1			
相馬東		1		
平工業	6	4	3	7
只見			1	
橘				1
遠野				1
富岡			1	
勿来工業		1	3	1
塙工業	1			
原町	1	2		3
坂下	2	1		1
東日本国際大学附属昌平	2	2		
福島(私立)			1	1
福島工業	4	1	2	
福島商業	1			
福島成蹊	1			
福島西	2	2		
福島東	1			1
福島南		1		
福島明成		2	1	1
双葉		3	1	
湯本		1		
四倉	1			
若松商業		2	2	
茨城	40	45	35	51
麻生				1
石岡第一	2			
磯原	4		1	
伊奈	2	1		
茨城			1	
茨城キリスト教学園	2	2	2	2
ウィザス	5	3	1	1
牛久			1	
牛久栄進		2		
太田第一	1			
大宮工業		1		
鹿島	2	5	1	1
勝田			1	1
勝田工業		1		2
神栖		1		
古河第一		1		
古河第三				1
境				1
佐竹	2		1	
佐和	1	1	1	
下館工業		1		
下館第一	1			
下館第二				2
下妻第一	1	1	3	
下妻第二				1
常総学院	1			
翔洋学園	2		1	3
水城	4	2		3
大子清流				1
多賀	2	2	1	7
玉造工業			1	1
つくば開成	1	1	1	1
つくば工科	1	2	2	2
つくば国際大学				1
つくば秀英	2	2	1	2
土浦工業	1	1	1	2

高校名	1年	2年	3年	4年
高松				
土浦湖北		1		
土浦第三		1		
東洋大学附属牛久		1		
那珂				2
波崎		3		1
波崎柳川		2		
日立北			2	3
日立工業			1	
日立第一				1
日立第二		1		
鉾田第一		2		
水海道第一				1
水戸工業			1	1
水戸商業	1	1	6	4
水戸短期大学附属			2	
緑岡	1			1
明秀学園日立	2		2	
守谷				1
八千代		1		
竜ヶ崎第一			1	
ルネサンス	1			
栃木	27	30	22	29
足利		1	1	1
足利工業		1	1	
足利工業大学附属				1
足利南		2		
今市	1	2		2
今市工業				2
氏家				3
宇都宮		1		
宇都宮北	1			
宇都宮工業	1	1	1	1
宇都宮清陵	3	4	1	1
宇都宮短期大学附属				2
宇都宮白楊	3	1	5	
宇都宮東	1			
大田原	1			
大田原女子	1			
小山				1
小山西	1			
学悠館	1			
鹿沼		1		1
鹿沼東	1		3	
烏山		2		
黒磯	1		1	
黒磯南		1	1	
國學院大學栃木	5	1	1	
作新学院	5	3	3	6
佐野	1			
佐野松陽		1		1
佐野日本大学			1	
栃木工業				1
那須清峰		1		
那須拓陽			1	1
白鷺大学足利	2			
日々輝学園	1	1		
壬生				1
真岡	1	1		1
真岡工業				1
真岡女子	1			1
茂木			1	1
矢板東			1	
群馬	34	36	24	28
伊勢崎(県立)		2		
伊勢崎興陽			1	
伊勢崎清明	1			
伊勢崎東				2
太田	1	1		
太田工業		1		1
太田女子	1			
太田東	1			2
共愛学園		1	1	
桐生				2
桐生市立商業		1	1	
渋川	2			
渋川工業			1	1
渋川女子		1		
樹徳	1			
勢多農林			1	1
高崎北	1			3
高崎健康福祉大学高崎	3	3		
高崎工業	1	1		
高崎商科大学附属				2

高校名	1年	2年	3年	4年
高崎東		1	1	
館林	3	4	2	1
館林商工		2		
東京農業大学第二	1		4	2
常磐				1
利根実業	1			
利根商業			1	
富岡	3			
富岡東				1
中之条		2		
新島学園			1	1
沼田	2	2		1
沼田女子	1		1	1
藤岡中央	1	2		
前橋(市立)		2		
前橋育英	1		1	1
前橋工業	3	2	2	2
前橋商業		1		
前橋清陵		1		
前橋西	1	1		1
前橋東	3	1		
前橋南	1	2	2	1
明和泉央		1	2	3
吉井		1		
上記以外の高等学校等	1			

埼玉	19	11	10	16
いずみ				1
伊奈学園総合	1		1	
岩槻		1		
浦和実業学園	1	1		
大宮開成	1	2		1
大宮西		1		
開智	1			1
春日部共栄	1			
川口東				2
川越工業		1		
熊谷			1	
熊谷西				1
越谷西	1		1	
越谷南				1
埼玉平成	1			1
栄北		1		
志木			1	
秀明	2			
秀明英光				2
城西大学付属川越	1			1
杉戸		1		
杉戸農業			1	1
西武台		1		
草加南	1			
秩父	2			1
筑波大学附属坂戸				1
東京成徳大学深谷			1	
東京農業大学第三			1	1
獨協埼玉				1
花咲徳栄			1	
羽生第一				1
武南	1			
星野	1			
本庄東	2	1	1	1
松山		1		
与野	2			

千葉	8	24	7	33
我孫子	1	1		
我孫子二階堂				2
市原中央		2		1
市原八幡				1
柏(市立)		1		
柏井		1		
柏中央	1			
鎌ヶ谷西				1
君津				1
京葉工業		1		
小金				1
佐倉				1
佐倉南		1		
佐原	1			1
志学館			1	1
清水		1		
匝瑳		1		
館山総合	1	2	3	6
千城台				1
千葉経済大学附属			1	2
千葉工業		1	1	2

高校名	1年	2年	3年	4年
千葉商科大学付属		1		
千葉商業				1
千葉西			1	1
千葉日本大学第一		1		
銚子(市立)	1	4		2
長生				1
東総工業				1
富里				1
長狭			1	1
流山東				2
成東	1			
船橋(市立)		1		
船橋古和釜				1
船橋芝山	1			
幕張総合		1		
八千代松陰		3		
わせがく				1

東京	110	130	98	116
足立	1			
井草	1			
郁文館	1	1		
板橋				1
岩倉	2			1
穎明館		1		
桜美林	1			1
青梅総合		1		
大崎				2
大森学園	3	4	1	2
小川	3	5	2	2
科学技術	2	1	3	6
科学技術学園		3	1	
片倉	1			
蒲田			1	
関東第一		1		
北多摩				1
共栄学園				1
桐ヶ丘		1		
錦城学園	1			
九段		1		
国本女子	1			
蔵前工業		4	6	1
京華	1	3	1	1
京北				1
小岩				1
工学院大学附属	1	2	2	2
攻玉社	1			1
工芸				1
佼成学園			1	
江北			1	
國學院大学久我山	2			
国土館	2			1
小平南	1			1
狛江	3		2	1
駒込			1	
駒沢学園女子	1	1		
駒場				1
駒場学園	1	3	1	3
桜町		2	1	
実践学園				2
忍岡	1			
芝			1	2
芝浦工業大学		2	1	
石神井				1
自由ヶ丘学園	3	5	2	2
淑徳	1		1	
淑徳巣鴨				2
松蔭	2			
翔陽		3		
昭和			1	1
昭和女子大学附属昭和				1
昭和第一学園		2	1	
昭和鉄道	1			
新宿山吹				1
神代	1	1		2
杉並学院		2	1	
杉並工業				1
墨田川				2
聖学院	1			
成城		1		
成城学園		1		
正則	2		1	
正則学園		2		
青稜				1
創価	1			
総合工科	3	4		

高校名	1年	2年	3年	4年
大成		1	1	1
大東学園		3		
立川		1		
橘	1			
玉川				1
玉川学園高等部	1	1		
多摩工業	1	1		1
多摩大学目黒	2	1		2
千歳丘				1
調布南				1
筑波大学附属駒場	1			
つばさ総合			1	1
鶴川	1			
帝京八王子			2	2
田園調布	2	2	1	1
東海大学菅生		1		
東京		3	2	
東京学園	1	4	2	3
東京家政学院				1
東京家政大学附属女子				1
東京工業高专			2	
東京工業大学附属科学技術				1
東京実業	1	2	2	1
東京女子学院	1			
東京成徳大学	1	1		
東京大学教育学部附属	1			
東京電機大学	1			
東京都市大学付属		2	1	2
東京都立工業高专				1
東京都立大学附属			3	
東京農業大学第一	1	1	1	1
桐朋	1		2	
東洋英和女学院高等部			1	
豊島学院	1			
獨協	1	1		
豊多摩	1			
中野工業		1		
永山			1	
成瀬	2	2	4	1
二松學舎大学附属			2	
日体荏原	1	1	1	4
日本工業大学駒場	8	7	1	3
日本放送協会学園	1	1		
日本音楽			1	
日本学園			2	2
日本大学第三	5	2		1
日本大学第二			1	
日本橋	1			
練馬			2	
農芸	2			
八王子		1	2	3
八王子実践			1	4
東		1	3	
東村山		1		
東大和	1			
東大和南	1		1	
一橋				1
日野	1	1	1	1
日野台	2			
深川	1	1	1	
深沢		1	1	
富士森	1	1	1	
府中	1			1
府中工業		1	1	2
府中西				1
府中東		1		
文化女子大学附属杉並			1	
文教大学付属	2	2	1	1
保善	4		1	2
町田工業	2	4	2	3
松が谷	1	2	1	1
松原				1
三鷹	1			
向丘			1	1
武蔵丘	1			
村田女子		1		
明治学院			1	
明治大学付属中野		1		
明治大学付属中野八王子		1		
明星	3	1		
目黒(都立)				1
目黒学院	2	1	4	3
紅葉川			1	
八潮				2
山崎	2	3		1
雪谷	1	2		

高校名	1年	2年	3年	4年
立正		1		
向国		1		
芦花		1	1	3
六郷工科			1	1
六本木		1		
若葉総合		1		
和光			1	1
上記以外の高等学校等	1			

神奈川	521	573	410	478
愛川		5	2	4
相原	3			1
麻生	1	2		5
麻生総合				3
旭	2	5	4	7
旭丘	1	1		1
麻布大学附属淵野辺	5	3		
麻溝台			1	3
足柄	2	8	4	4
厚木北	13	7	4	6
厚木商業	7	11	7	6
厚木清南	4	8	6	2
厚木中央	1	2	1	
厚木西	18	10	7	5
厚木東	5	3	8	2
綾瀬	5	8	6	5
綾瀬西	6	4		4
新磯	5	2	2	2
有馬	1	6	7	4
アレスイア湘南	1	2	1	1
生田	4			4
生田東	3	3	4	3
伊志田	6	8	9	3
伊勢原	10	10	4	7
磯子	1	2		
磯子工業	3	1		6
市ヶ尾	1	4		2
岩戸			1	
荏田	2	3	3	3
海老名	4	2	1	3
大井	2	4	2	2
大磯		1	1	
大楠			1	
大清水	1	2	2	2
大西学園		2		
大秦野				3
大原	3	3	1	3
大船		3		
岡津				3
小田原		1		
小田原城東		1	2	2
小田原城北工業	9	15	9	1
小田原総合ビジネス	1	2		
追浜			1	1
柏木学園	1			
金井	6		2	4
神奈川学園	1			1
神奈川工業	5	5	7	12
神奈川総合			1	
神奈川総合産業	18	15	14	4
神奈川大学附属				1
金沢		1		2
金沢総合	1		2	1
鎌倉	1			
鎌倉学園		2	1	
釜利谷	1	1		1
上郷		2		5
上鶴間	7	5	5	7
上溝	2	6	5	10
上溝南	3	5		4
上矢部	1			2
川崎(市立)	2	2		
川崎(県立)		2		4
川崎北	1	5	4	2
川崎工業	2	5	1	4
川崎市立商業	1	1		1
川崎総合科学	12	6	8	6
川和				1
神田		4	1	1
関東学院	1		1	1
関東学院六浦		1	1	
岸根	1	3	2	2
霧が丘	5		5	2
鶴沼	1	1	1	
久里浜				1
栗原	3	2		1

高校別在学学生数一覽

高校名	1年	2年	3年	4年
慶應義塾			1	
向上	12	9	2	5
港南台			1	1
港北		1	1	
光陵		1		
五領ヶ台		3		1
相模大野	1	1		
相模女子大学高等部		1		1
相模田名	4	3	5	7
相模原(県立)	1			
相模原(私立)	7	11	7	4
相模原総合	8	5	5	6
桜丘	1	1		1
座間	1	3	1	4
座間総合	2			
寒川	6	3		2
サレジオ学院		1		
自修館	1			1
七里ガ浜				1
商工	6	2	4	1
湘南				2
湘南学院	5	2	3	2
湘南学園				1
湘南工科大学附属	2	1	5	3
湘南台	1	2	1	5
松陽	2		1	3
城郷	3	1	4	7
城山	6	5	4	7
新栄	3		1	2
新城		1		
菅	7	11	6	2
豆子				2
住吉	2	2	3	3
逗葉	1	2		2
星槎	1			
西湘	2	1	3	
聖セシリア女子		1		
聖和学院		1		
瀬谷	2	2	2	3
瀬谷西	3	3	2	3
相武台	3	9	6	9
相洋	6	4	7	14
大師	2	2	1	2
高木学園女子		1	1	
高津		7	2	4
高浜	1		1	1
橘	1	2		
橘学苑	1			
立花学園	3	6	3	4
多摩		1		
茅ヶ崎	9	3	3	5
茅ヶ崎西浜	2	4	2	3
茅ヶ崎北陵			1	
中央農業	7	2	2	
津久井	3	4	2	3
津久井浜	3	1	1	2
鶴見	3		1	
鶴見工業			1	3
鶴見総合	1	2		2
鶴嶺	3	1	3	3
桐蔭学園	1	6	3	5
東海大学付属相模		1		
桐光学園		2		1
東横学園大倉山			1	1
藤澤学園藤沢		2	2	4
戸塚	1	1	2	
永谷	1	1		
新羽	2	1	1	2
二宮	11	10	2	6
日本大学				1
日本大学藤沢	3	1		
白山			1	
柏陽	1	1		
橋本	2	4	4	1
秦野	1	1	2	
秦野総合	4	1	1	
秦野曾屋	2	10	11	5
秦野南が丘		2	4	6
東	1	1	1	2
氷取沢	2	1	1	3
ひばりが丘		4	1	5
平塚学園	6	5	4	6
平塚工科	20	23	14	5
平塚江南			1	
平塚商業		1		
平塚農業		1		1

高校名	1年	2年	3年	4年
深沢		1	2	2
藤沢			2	
藤沢工科	7	9	4	8
藤沢翔陵	6	3	7	7
藤沢総合	1	2		
藤沢西		2		
武相	5	2	2	3
二俣川看護福祉	1			
法政大学第二		3	1	
保土ヶ谷		2		
舞岡	7	4	2	3
三浦学苑	2	1	1	
三浦臨海	3	1		1
聖園女学院	1		1	
みなと総合		2		1
向の岡工業		5	2	2
六ツ川			4	5
元石川	3	2		2
弥栄	1			
弥栄西				1
弥栄東			1	2
山北	3	5	5	1
山手学院	1	1		1
大和	1	1		
大和西	1	2		4
大和東	9	11	6	4
大和南	4	9	3	3
百合丘	2		2	2
横須賀(県立)	1		1	
横須賀大津	2	1		
横須賀学院			2	6
横須賀工業	1		2	
横須賀総合	4	2	1	3
横浜	10	11	4	6
横浜桜陽	2	6	1	
横浜学園	2	2	2	1
横浜旭陵	2		5	
横浜国際	4	3		
横浜国際女学院翠陵			1	1
横浜商科大学	5	8	9	7
横浜商業	2	1	2	1
横浜女学院		1		
横浜翠嵐		1		
横浜清風	4	5		4
横浜清陵総合	1	1		
横浜創英	3	4	1	3
横浜創学館	4	7	6	3
横浜立野		1		
横浜南陵	2	3		1
横浜隼人	7	11	4	5
横浜山手女子	1			
横浜緑園総合	2	1		
吉田島農林	2			
上記以外の高等学校等	1			

新潟	35	33	36	40
糸魚川	1	1		1
糸魚川白嶺	1			
小千谷	1		2	5
柏崎	1			1
柏崎工業			1	
柏崎常盤	2			4
加茂		1	1	2
加茂農林		1		
小出	1		1	1
高志			1	
五泉			1	
佐渡			1	
佐渡総合	1	1		
三条		2		
三条商業	1			
三条東	1			
塩沢商工		1		
新発田中央			2	3
新発田南		1	1	1
上越			1	
上越総合技術		3	2	2
関根学園		1		
高田			1	
高田北城		2	1	
中越	1	2		
津南			1	
燕	1		1	1
東京学館新潟			2	1
十日町	1		1	3
十日町総合			1	

高校名	1年	2年	3年	4年
直江津	1	1		
長岡工業	5	4	2	3
長岡工業高専	1			
長岡向陵	3		1	1
新潟県央工業		1		
新潟工業		1		1
新潟江南	1			1
新潟産業大学附属	1			
新潟青陵				1
新潟第一			1	
新潟中央	2	1		
新潟西	1		2	
新潟南				1
新潟明訓	1			
日本文理	1	4	1	1
万代			1	1
分水	1		1	1
北越		1	2	
巻			2	
巻総合		1		
六日町	1		2	2
村上	2		1	
村上桜ヶ丘				1
両津	1	2		

富山	4	3	7	7
魚津			1	
新湊	1			
大門			1	
高岡工芸			1	
高岡商業			1	
中央農業			1	
泊	1			
富山いづみ		1		
富山第一	1			
富山南			1	
入善		1	1	1
氷見			1	1
伏木				1
不二越工業	1			
水橋				3
八尾		1		
龍谷富山				1

石川	3	2		4
アットマーク国際	1			
金沢泉丘	1			1
金沢桜丘	1			
工業(県立)				1
翠星				1
野々市明倫		1		
羽咋工業				1
遊学館		1		

福井	1	1		1
金津		1		
北陸				1
若狭	1			

山梨	36	33	30	28
石和	2			1
市川	1		2	
上野原		1	1	2
塩山	1	2	2	
桂	9	7	5	1
甲府工業	2	4	3	2
甲府城西	1		1	
甲府昭和		3	3	2
甲府第一	2		2	3
甲府東	1	1	1	
甲府南				1
甲府湯田		1	1	
甲陵		1	2	
巨摩	1	1	1	1
白根	1			3
中央		2		
都留	1			
日本航空		1	1	
韮崎	1		1	2
韮崎工業		2		
農林		1		
日川	5			2
富士河口湖	4	1	2	2
富士北稜	2	2	1	2
北杜		1	2	1
身延		1	2	

高校名	1年	2年	3年	4年
谷村工業		1		
吉田		1	1	

長野	61	50	49	68
赤穂	1	2		
飯田工業	1			1
飯田風越	3	1		
飯山北			1	1
飯山南			1	
池田工業		1		1
伊那北				1
伊那弥生ヶ丘	2	2	3	1
岩村田	1	1	2	1
上田染谷丘	1			2
上田千曲	4	3	2	2
上田西	1	1		1
上田東	1	5	7	12
大町	2			1
岡谷工業	8	1	1	2
岡谷南				1
上伊那農業	4	2	1	1
木曾			1	1
小海	1		2	
駒ヶ根工業	5	2	1	
小諸	2			1
小諸商業			1	
佐久長聖		1	1	2
さくら国際	1			
塩尻志学館				1
篠ノ井	1	1		2
下諏訪向陽	3		1	1
須坂		1		
須坂園芸	1			
須坂東		2	1	2
諏訪清陵	1		1	
諏訪二葉		2	1	
田川			2	4
東海大学付属第三				1
豊科				2
長野工業	8	8	6	4
長野俊英	1		1	
中野西	2	1	3	1
長野西				1
長野日本大学		1		
長野東	1	2		1
長野南	1		1	2
野沢北			1	2
野沢南	2	3	1	1
北部		1		
松代		1		
松本嶺ヶ崎		1		1
松本工業	1	3	2	3
松本美須ヶ丘				4
南安曇農業			3	
屋代	1		1	

岐阜	3	1	2	4
大垣工業				1
大垣西			1	
可児工業		1		
華陽フロンティア				1
岐阜				1
岐阜総合学園		1		
中津		1		
本巣松陽			1	1
吉城			1	

静岡	178	134	88	132
熱海	1			
伊豆中央	2	1	2	
伊東	9		1	3
伊東城ヶ崎				1
伊東商業		1		1
稲取	1	4	1	1
庵原	4		1	2
磐田北	1	1		
磐田西	1		1	1
磐田東	3	3	2	4
磐田南	1			
オイスカ		1	1	
大井川	5			2
大仁	4	2		
小笠				1
小山	6	4	2	6
科学技術	6	3		
掛川工業	3	1	2	5

高校名	1年	2年	3年	4年
掛川西	1	2		
掛川東			2	
加藤学園	8	4	1	3
加藤学園暁秀	1	2		
金谷			1	
興誠		2	3	
国際開洋第一	2			
湖西				1
御殿場	8	3	2	3
御殿場西	1			
御殿場南	5	3		1
相良		1		
静岡学園	2	3		3
静岡北		1		
静岡県富士見	3		1	
静岡工業			1	
静岡サレジオ	2			
静岡城北		2		
静岡市立	2	1		1
静岡聖光学院	2	1		
静岡大成		1		
静岡中央	2	1		1
静岡西	1	2	1	1
静岡南				1
島田	1	3		1
島田学園		1		
島田工業		2	1	1
清水工業			3	3
清水西	1	1		
清水東			1	
清水南	1			
下田	4	3		
下田北				1
下田南			1	1
修善寺工業	13	1	7	9
裾野		3		3
誠恵			1	
星陵	3	4	2	3
聖隷クリストファー		1		2
田方農業	1			
天竜林業	1			
桐陽	1	3	1	2
常葉学園菊川	1	2	1	2
常葉学園橋	3	3	2	7
日本大学三島		1		
沼津工業	12	7	6	6
沼津商業	1			
沼津城北	6	7	1	3
沼津市立沼津	3	3	2	1
沼津中央	4	1	1	
沼津西	3	2		2
沼津東		1		
榛原		1	2	2
浜名		1		2
浜松江之島	1		1	
浜松大平台		1		
浜松開誠館		1		
浜松学芸	1			1
浜松工業		2	3	
浜松湖東	2			1
浜松湖南	1	1		2
浜松商業			1	
浜松城北工業			1	
浜松西		1	1	
浜松日体	1		1	2
浜松南		1		1
飛龍		1		
富士館	2	1		1
藤枝西	3		4	
藤枝東	1			
藤枝明誠	1			1
富士宮北	2	2	1	6
富士宮西		1	1	2
富士宮東	1	2	1	2
富士東	1	1		3
三島		2	1	2
三島北	2		1	
三島長陵			2	1
三島南		4	1	
三ヶ日		1	1	
焼津水産				1
焼津中央	2			1
吉原	5	6	2	3
吉原工業	6	5	8	9

高校名	1年	2年	3年	4年
愛知	3	8	2	3
愛知教育大学附属		1		
熱田		1		
小牧南				1
桜丘	1			
成章	1			
中京大学附属中京		1		1
知立		1		
東邦		1		
豊橋工業		1		
豊橋西				1
豊橋東	1			
中村			1	
名古屋経済大学市邨		1		
南山		1		
丹羽				1
三重	4	4	4	3
いなべ総合学園			1	
川越		1	1	
神戸	1			
桑名西			1	
皇學館			1	
鈴鹿		1		
高田	1	1		
松阪		1		
三重	2			
四日市西				2
四日市南				1
滋賀				1
近江				1
京都				3
京都すばる				1
久御山				2
大阪	7	4	2	3
大阪電気通信大学	1		2	
向陽台	4	4		1
少路				1
浪速				1
八洲学園	1			
早稲田摂陵	1			
兵庫	2	6		4
明石城西	1			
近畿大学附属豊岡				1
淨心学院				1
洲本実業		1		
宝塚西		1		
滝川第二		1		
長田	1			
西脇工業		1		
福崎				1
三木北		1		1
社		1		
奈良				1
奈良大学附属	1			
和歌山	1		1	1
新宮	1		1	
和歌山信愛女子短期大学附属				1
鳥取	2	4		
倉吉西	1	3		
鳥取東		1		
米子工業	1			
島根	2	2	2	5
出雲			1	
出雲工業				1
出雲北陵		1		
隠岐				1
開星				1
大社				1
益田			1	1
松江東	1	1		
安来	1			
岡山	2	5	2	5
岡山操山				1
岡山芳泉		1		
岡山理科大学附属			1	1
落合			1	

高校名	1年	2年	3年	4年
笠岡				1
倉敷古城池				1
西大寺	1			
総社		1		
総社南		1		
津山	1			
津山東				1
新見		1		
水島工業		1		
広島	6	6	5	7
五日市		1		
尾道北	1			
賀茂			1	
銀河学院		2		
近畿大学附属福山	1			
修道			1	
崇徳			1	2
大門	1			1
広島		1		
広島工業大学			1	
広島城北	2			
広島新庄		1		
広島大学附属				1
府中				2
宮島工業				1
三次	2			
安古市			1	
山口	1	4	1	2
華陵		1		
下関				1
新南陽		2		
高川学園			1	
高水	1	1		
山口県桜ヶ丘				1
徳島	1	1	2	
徳島東工業		1		1
富岡東			1	
鳴門				1
香川	1	4	2	1
英明	1			
香川中央		1	1	
観音寺第一		1		
志度				1
尽誠学園			1	
高松工業		1		
高松商業		1		
愛媛	2	4	2	
今治工業		1		
今治東		1		
新居浜西			1	
新田		1		
松山北	1			
松山中央	1		1	
松山南		1		
高知	3	1	2	3
安芸	1			
岡豊				1
高知			1	
高知小津				1
高知学芸	1			
高知工業		1		
高知南			1	
須崎	1			
土佐塾				1
福岡	6	2	3	
育徳館	1			
大牟田			1	
九州国際大学付属	1	1	1	
青豊	1	1		
東筑			1	
福岡工業	1			
山門	2			
佐賀	1	1	2	2
弘学館			1	
佐賀北			1	1
佐賀工業				1
東明館	1			
鳥栖		1		

高校名	1年	2年	3年	4年
長崎	3	2		3
杵岐	1			
川棚		1		
佐世保北				1
佐世保中央		1		
長崎北	1			
長崎南山				1
長崎日本大学	1			
長崎太陽台				1
熊本	4	2	3	
九州学院	1	1		
熊本マリスト学園				1
翔陽			1	
玉名	1			
東海大学付属第二				1
東稜	1			
文徳	1			
勇志国際		1		
大分		1	5	2
大分雄城台				2
大分東明				1
大分南				1
杵築				1
情報科学			1	1
竹田		1		
宮崎	9	8	6	8
小林	1		1	
高鍋		1		1
日章学園九州国際		1		
延岡工業	1			
延岡西				1
日向学院	1			
日向工業	1			
鵬翔				1
都城泉ヶ丘		1		2
都城西				1
宮崎北	1	1		1
宮崎工業	2	2	3	2
宮崎商業		1		
宮崎西				1
宮崎南	3			
鹿児島	4	6	1	2
池田学園池田	1			
沖永良部		1		
鹿児島				1
鹿児島玉龍	1			
鹿児島実業			1	
鹿児島情報				1
鹿児島第一		2		
加治木	1			
喜界				1
志布志	1			
松陽		1		
屋久島おおぞら		1		
沖縄	7	13	7	5
浦添	1			
沖縄工業			4	2
沖縄尚学			1	
興南	1	1	2	1
コザ		1		2
首里東	1			
那覇		1		
那覇国際				1
那覇西		1	1	
南部工業		1	1	
南風原				1
普天間	1			
辺土名		1		
北山		1		
前原	1			
宮古工業		1		
美来工科				1
八重山商工	1	1		
その他	24	46	27	13
高校卒業程度認定試験・大学入学資格検定	11	22	10	7
外国の学校等	13	24	15	6
専修学校の高等課程			2	

平成22年度入学試験結果

■推薦入試(専門高校・総合学科関係)

学部名	学科名	志願者数	受験者数	合格者数
工学部	機械工学科(グローバルエンジニアコース/クリエイティブエンジニアコース)	4	4	4
	機械工学科(航空宇宙学専攻)	0	0	0
	電気電子情報工学科	2	2	2
	応用化学科	1	1	1
	学部計	7	7	7
創造工学部	自動車システム開発工学科	2	2	2
	ロボット・メカトロニクス学科(ロボット開発コース)	1	1	1
	ロボット・メカトロニクス学科(人間福祉・健康科学コース)	0	0	0
	ホームエレクトロニクス開発学科	1	1	0
	学部計	4	4	3
応用/バイオ科学部	応用/バイオ科学科	2	2	0
	学部計	2	2	0
	情報工学科	0	0	0
	情報ネットワーク・コミュニケーション学科	2	2	2
	情報メディア学科(メディアエンジニア・コンテンツクリエイターコース)	2	2	2
情報学部	情報メディア学科(キャラクタークリエイターコース)	0	0	0
	学部計	4	4	4
	合計	17	17	14

※1

■AO入試(実績評価方式)

学部名	学科名	エントリー数	書類審査合格者数	出願者数	面接受験者数	合格者数
工学部	機械工学科(グローバルエンジニアコース/クリエイティブエンジニアコース)	0	0	0	0	0
	機械工学科(航空宇宙学専攻)	0	0	0	0	0
	電気電子情報工学科	2	2	2	2	2
	応用化学科	0	0	0	0	0
	学部計	2	2	2	2	2
創造工学部	自動車システム開発工学科	2	2	2	2	2
	ロボット・メカトロニクス学科(ロボット開発コース)	1	1	0	0	0
	ロボット・メカトロニクス学科(人間福祉・健康科学コース)	0	0	0	0	0
	ホームエレクトロニクス開発学科	3	3	3	3	3
	学部計	6	6	5	5	4
応用/バイオ科学部	応用/バイオ科学科	1	1	1	1	1
	学部計	1	1	1	1	1
	情報工学科	5	5	5	5	5
	情報ネットワーク・コミュニケーション学科	6	6	6	6	6
	情報メディア学科(メディアエンジニア・コンテンツクリエイターコース)	0	0	0	0	0
情報学部	情報メディア学科(キャラクタークリエイターコース)	0	0	0	0	0
	学部計	17	17	17	17	16
	合計	26	26	25	25	23

■AO入試(適性評価方式)

学部名	学科名	出願者数	受験者数	合格者数
工学部	機械工学科(グローバルエンジニアコース/クリエイティブエンジニアコース)	4	4	4
	電気電子情報工学科	3	3	3
	応用化学科	10	10	10
	学部計	17	17	17
	自動車システム開発工学科	9	9	8
創造工学部	ロボット・メカトロニクス学科(ロボット開発コース)	4	4	3
	ロボット・メカトロニクス学科(人間福祉・健康科学コース)	13	13	11
	学部計	17	17	14
	応用/バイオ科学科	10	10	6
	学部計	30	29	27
応用/バイオ科学部	情報工学科	35	34	27
	情報ネットワーク・コミュニケーション学科	35	34	27
	情報メディア学科(メディアエンジニア・コンテンツクリエイターコース)	40	40	33
	情報メディア学科(キャラクタークリエイターコース)	9	9	8
	学部計	114	112	95
情報学部	合計	154	152	129

※創造工学部ロボット・メカトロニクス学科は実施していません。

■AO入試(レクチャー・レポート方式)

学部名	学科名	出願者数	受験者数	合格者数
工学部	機械工学科(グローバルエンジニアコース/クリエイティブエンジニアコース)	6	6	4
	電気電子情報工学科	9	9	4
	応用化学科	4	4	4
	学部計	19	19	16
	自動車システム開発工学科	8	8	8
創造工学部	ロボット・メカトロニクス学科(ロボット開発コース)	8	8	8
	ロボット・メカトロニクス学科(人間福祉・健康科学コース)	14	14	13
	学部計	22	22	21
	応用/バイオ科学科	14	14	13
	学部計	36	36	34
応用/バイオ科学部	情報工学科	8	8	7
	情報ネットワーク・コミュニケーション学科	8	8	7
	情報メディア学科(メディアエンジニア・コンテンツクリエイターコース)	49	49	44
	情報メディア学科(キャラクタークリエイターコース)	8	8	7
	学部計	66	66	61

※工学部機械工学科(航空宇宙学専攻)、創造工学部自動車システム開発工学科、ロボット・メカトロニクス学科および情報学部情報ネットワーク・コミュニケーション学科、情報メディア学科は実施していません。

■AO入試(ライブデザイン方式)

学部名	学科名	出願者数	受験者数	合格者数
創造工学部	ロボット・メカトロニクス学科(ロボット開発コース)	17	17	15
	ロボット・メカトロニクス学科(人間福祉・健康科学コース)	2	2	1
	合計	19	19	16

※創造工学部ロボット・メカトロニクス学科のみ実施しています。

■AO入試(スポーツ実績評価方式)

学部名	学科名	エントリー数	受験者数	書類審査合格者数	出願者数	合格者数
工学部	機械工学科(グローバルエンジニアコース/クリエイティブエンジニアコース)	2	2	0	0	0
	電気電子情報工学科	0	0	0	0	0
	応用化学科	0	0	0	0	0
	学部計	2	2	0	0	0
	自動車システム開発工学科	0	0	0	0	0
創造工学部	ロボット・メカトロニクス学科(ロボット開発コース)	0	0	0	0	0
	ロボット・メカトロニクス学科(人間福祉・健康科学コース)	13	13	13	13	13
	ホームエレクトロニクス開発学科	3	3	2	2	2
	学部計	16	16	15	15	15
	応用/バイオ科学科	0	0	0	0	0
応用/バイオ科学部	情報工学科	0	0	0	0	0
	情報ネットワーク・コミュニケーション学科	2	2	0	0	0
	情報メディア学科(メディアエンジニア・コンテンツクリエイターコース)	3	3	3	3	3
	情報メディア学科(キャラクタークリエイターコース)	0	0	0	0	0
	学部計	7	7	5	5	5
情報学部	合計	25	25	20	20	20

※工学部機械工学科(航空宇宙学専攻)、創造工学部自動車システム開発工学科は実施していません。

■専門高校・総合学科特別選抜入試

学部名	学科名	エントリー数	受験者数	書類審査合格者数	出願者数	合格者数
工学部	機械工学科(グローバルエンジニアコース/クリエイティブエンジニアコース)	2	2	2	2	2
	機械工学科(航空宇宙学専攻)	0	0	0	0	0
	電気電子情報工学科	4	4	4	4	4
	応用化学科	4	4	4	4	4
	学部計	10	10	10	10	10
創造工学部	自動車システム開発工学科	2	2	2	2	2
	ロボット・メカトロニクス学科(ロボット開発コース)	4	4	4	4	4
	ロボット・メカトロニクス学科(人間福祉・健康科学コース)	0	0	0	0	0
	ホームエレクトロニクス開発学科	0	0	0	0	0
	学部計	6	6	6	6	6
応用/バイオ科学部	応用/バイオ科学科	2	2	2	2	2
	学部計	2	2	2	2	2
	情報工学科	2	2	1	1	1
	情報ネットワーク・コミュニケーション学科	1	1	1	1	1
	情報メディア学科(メディアエンジニア・コンテンツクリエイターコース)	3	3	3	3	3
情報学部	情報メディア学科(キャラクタークリエイターコース)	0	0	0	0	0
	学部計	6	6	5	5	5
	合計	24	24	23	23	23

■推薦入試(一般公募制)

学部名	学科名	志願者数	受験者数	合格者数
工学部	機械工学科(グローバルエンジニアコース/クリエイティブエンジニアコース)	10	10	7
	機械工学科(航空宇宙学専攻)	3	3	3
	電気電子情報工学科	5	5	5
	応用化学科	4	4	4
	学部計	22	22	19
創造工学部	自動車システム開発工学科	10	10	7
	ロボット・メカトロニクス学科(ロボット開発コース)	1	1	1
	ロボット・メカトロニクス学科(人間福祉・健康科学コース)	1	1	1
	ホームエレクトロニクス開発学科	7	7	7
	学部計	19	19	15
応用/バイオ科学部	応用/バイオ科学科	6	6	5
	学部計	16	15	6
	情報工学科	22	21	11
	情報ネットワーク・コミュニケーション学科	14	14	13
	情報メディア学科(メディアエンジニア・コンテンツクリエイターコース)	6	6	5
情報学部	情報メディア学科(メディアエンジニア・コンテンツクリエイターコース)	16	16	12
	情報メディア学科(キャラクタークリエイターコース)	4	4	3
	学部計	40	40	33
	合計	103	102	78

※1

※1 ○合格者には、学科により志望順位で合格した者を含みます。
◎志願者・受験者には、選考の対象となつた志望順位志願者・受験者を含みます。

■自己推薦入試

学部名	学科名	志願者数	受験者数	合格者数
工学部	機械工学科(グローバルエンジニアコース/クリエイティブエンジニアコース)	5	5	2
	機械工学科(航空宇宙学専攻)	3	3	3
	電気電子情報工学科	3	3	2
	応用化学科	7	6	6
	学部計	18	17	13
創造工学部	自動車システム開発工学科	8	8	5
	ロボット・メカトロニクス学科(ロボット開発コース)	3	3	1
	ロボット・メカトロニクス学科(人間福祉・健康科学コース)	1	1	1
	ホームエレクトロニクス開発学科	3	3	2
	学部計	15	15	9
応用/バイオ科学部	応用/バイオ科学科	6	5	4
	学部計	6	5	4
	情報工学科	8	8	4
	情報ネットワーク・コミュニケーション学科	9	9	5
	情報メディア学科(メディアエンジニア・コンテンツクリエイターコース)	10	10	5
情報学部	情報メディア学科(キャラクタークリエイターコース)	1	1	1
	学部計	28	28	15
	合計	67	65	41

※1

■一般A日程入試

学部名	学科名	志願者数	受験者数	合格者数
工学部	機械工学科(グローバルエンジニアコース/クリエイティブエンジニアコース)	138	127	102
	機械工学科(航空宇宙学専攻)	77	73	51
	電気電子情報工学科	88	85	67
	応用化学科	130	124	104
	学部計	433	408	324
創造工学部	自動車システム開発工学科	76	71	53
	ロボット・メカトロニクス学科(ロボット開発コース)	38	35	22
	ロボット・メカトロニクス学科(人間福祉・健康科学コース)	3	2	2
	ホームエレクトロニクス開発学科	1	1	1
	学部計	139	129	89
応用/バイオ科学部	応用/バイオ科学科	257	247	107
	学部計	65	64	27
	情報工学科	322	311	134
	情報ネットワーク・コミュニケーション学科	183	175	60
	情報メディア学科(メディアエンジニア・コンテンツクリエイターコース)	114	106	67
情報学部	情報メディア学科(キャラクタークリエイターコース)	217	208	113
	学部計	514	489	302
	合計	1,408	1,337	849

※1

■一般B日程入試

学部名	学科名	志願者数	受験者数	合格者数
工学部	機械工学科(グローバルエンジニアコース/クリエイティブエンジニアコース)	21	21	6
	機械工学科(航空宇宙学専攻)	7	7	4
	電気電子情報工学科	23	21	7
	応用化学科	26	25	3
	学部計	77	74	16
創造工学部	自動車システム開発工学科	14	14	11
	ロボット・メカトロニクス学科(ロボット開発コース)	5	5	3
	ロボット・メカトロニクス学科(人間福祉・健康科学コース)	3	3	2
	ホームエレクトロニクス開発学科	7	7	7
	学部計	29	29	22
応用/バイオ科学部	応用/バイオ科学科	48	46	17
	学部計	26	25	15
	情報工学科	74	71	32
	情報ネットワーク・コミュニケーション学科	31	27	11
	情報メディア学科(メディアエンジニア・コンテンツクリエイターコース)	30	28	14
情報学部	情報メディア学科(キャラクタークリエイターコース)	27	26	8
	学部計	88	81	33
	合計	268	255	103

■センター方式A日程入試

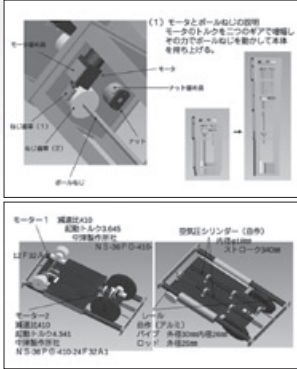
学部名	学科名	志願者数	受験者数	合格者数
工学部	機械工学科(グローバルエンジニアコース/クリエイティブエンジニアコース)	197	197	160
	機械工学科(航空宇宙学専攻)	63	63	36
	電気電子情報工学科	152	152	110
	応用化学科	131	131	91
	学部計	543	543	397
創造工学部	自動車システム開発工学科	88	88	66
	ロボット・メカトロニクス学科(ロボット開発コース)	66	66	49
	ロボット・メカトロニクス学科(人間福祉・健康科学コース)	33	33	28
	ホームエレクトロニクス開発学科	15	15	14
	学部計	202	202	157
応用/バイオ科学部	応用/バイオ科学科	272	272	99
	学部計	70	70	38
	情報工学科	342	342	137
	情報ネットワーク・コミュニケーション学科	199	199	155
	情報メディア学科(メディアエンジニア・コンテンツクリエイターコース)	101	101	79
情報学部	情報メディア学科(キャラクタークリエイターコース)	178	177	126
	学部計	478	477	360
	合計	1,565	1,564	1,051

■センター方式B日程入試

学部名	学科名	志願者数	受験者数	合格者数
工学部	機械工学科(グローバルエンジニアコース/クリエイティブエンジニアコース)	14	14	4
	機械工学科(航空宇宙学専攻)	5	5	2
	電気電子情報工学科	19	19	3
	応用化学科	25	25	2
	学部計	63	63	11
創造工学部	自動車システム開発工学科	6	6	5
	ロボット・メカトロニクス学科(ロボット開発コース)	6	6	4
	ロボット・			

創造設計Ⅱ

～3年目をむかえたプロジェクト型教育～



設計書図面(学生作品より抜粋)

3年次前期の創造設計Ⅰでは、プロジェクト型教育を具現化した科目として、実際に設定された課題に対する「もの」を製作しました。製作費が制限され、アイデア優先となる中、チームで1つのもを製作する過程を体験できたと思います。創造設計Ⅱでは、Ⅰで製作したものを工業的なレベルの「もの」に引き上げるため、構造材やアクチュエータ等を市販のもの、ペイロードを付加しても耐えられるよう、強度計算等も見直し再設計しました。この設計科目では、各個人で3D-CADを用いて完成図面を作成しました。提出前の2、3週は、学生も相当苦労したと思われるが、各自がかなりの達成感を得たのではないかと感じています。学生の将来に役立てばうれしいのですが、いかがでしたでしょうか?

(文責: 機械工学科講師/今井健一郎)

航空宇宙学専攻 新入生フレッシュヤーズキャンプ

4月4日の入学式終了後、新入生を対象に、1泊2日のフレッシュヤーズキャンプを行いました。これは、大学生活へのソフトランディングのため、大学生活を送る上での必要な情報を収集する場を提供するとともに、学生同士および教員との親睦を図ることを目的としたものです。

航空宇宙学専攻の1年生は、お台場にある日本科学未来館の見学後、羽田のJAL機体整備工場を見学しました。機体整備の様子が間近に見られる見学会となりました。



羽田のJAL機体整備工場を見学。

夕食の後の懇親会を兼ねたガイダンス。履修相談会も行われた。

昨年度の作品例を以下のWebに提示しています。

機械工学科ホームページ
www.mech-kait.net

「機械工学科の紹介」→「体験型学習科目3年次」

「航空宇宙学専攻」に新任教員が着任しました

機械工学科では、平成21年4月より定員30名の航空宇宙学専攻を設置いたしました。現在2年生に33名、1年生に30名の学生が在籍しております。彼らは卒業までに航空宇宙に関するかなり専門的な知識や考え方を身につけることを要求されています。それをサポートするために、平成22年4月から航空分野を担う教員の一人として小林修先生を特任教授としてお迎えしました。

小林修特任教授は、山陰地方のご出身で大学・大学院で航空工学分野を勉強・研究された後、現在の川崎重工業に入社され、幾つかの飛行機の開発設計に携われた経験をお持ちです。その中の一つは、航空宇宙技術研究所(NAL)がおこなった短距離離着陸STOL実験機「飛鳥」の開発です。この飛行機は、川崎重工が開発した航空自衛隊のC-1輸送機をベースにNALが開発した低騒音ターボファンエンジンFJR7104機を主翼上面に搭載した航空機で、1985年に初飛行しました。小林特任教授は、STOL実験機開発チーム(NASTADT)の一員としてこの飛行機の空力設計、安定操縦性/飛行制御設計、飛行試験などを担当され、開発チームの中核として活躍されました。その他、空飛ぶシミュレータであるP2V-7可変特性研究機(1977年初飛行)の飛行制御システム設計担当や、救難飛行艇「US-1A改」(2003年初飛行、現US-2)の開発設計チーム(USMET)のアドバイザーもされました。また、若い航空エンジニアの養成にも長年携わってこれ、若人諸君とワインを嗜みながら航空機開発と技術者について熱く語り合うのが好きな先生です。小林特任教授は新しい飛行機の開発・設計という仕事を通して、予想にもしなかった様々な難問を創意工夫で解決して来られました。学生諸君が小林先生から何かを学び取り、それをエンジニアの糧としてくれることを期待しています。

(文責: 機械工学科教授/三澤章博)



航空宇宙学専攻 新任
小林修 特任教授

大学院進学^{graduate school}の薦め

大学院というと、研究するところ、学者の養成機関という印象を持っている学生が多いようです。それは工学系に限れば大きな勘違いです。工学系大学院の博士前期課程(修士課程)では研究者を養成するのではなく、より高度な能力を身につけたエンジニアの養成を行っているのが日本の現状です。修士課程は今や特別なものではなく、学部教育にプラスアルファをし、新たな分野の勉強が自分でできる課程なのです。現在の日本では、学部プラス修士課程で、エンジニアとしての最低限の知識を得ることになりつつあります。今や工学教育も、医師や薬剤師と同様に6年制になったといっても過言でないでしょう。日進月歩の科学技術の基礎を身につけるために、学部4年間、修士2年間の計6年間の教育が必要と言われています。社会から要求されるエンジニアとしての能力を獲得するために、基礎科目の習得に3年間、卒業研究、修士論文の執筆などの応用科目の習得に3年間をかける必要があるというのが、一般的となりつつあるのです。さらにその後3年間の博士後期課程で研究を行い、能力・知識を磨いていくという選択も国公立大学では一般的になりつつあります。

各課程での出口保証は明確です。学士は、教員から出された課題を教員の指示する方法で解決できるようになること、一方修士は教員に出された課題を自分の力で

解決できることです。このような能力を身につけた修士はまさに企業が必要としている人材なのです。さらに博士は自分で課題を見出し、解決できることが求められ、大企業の研究・開発部門などでは、博士課程修了者もかなりの数を採用しています。

具体的に数字を挙げてみると、河合塾の行ったアンケートによると、工学部の就職・進学状況に関して、学部卒では3人に1人が製造業に就職、修士卒は9割が専門的・技術的職業に従事しているといえます。学部卒の大学院への進学率は、平均が32.3%、国立大学に限れば59.9%、公立大学では44.2%、私立大学は17.0%という数字になっています。また、大学院修了者の方が、学部卒業者と比較して大企業により多く就職しているというデータもあります。

本学の大学院への進学を考える際のメリットとしては、私立大学より安価な国立大学とほぼ同じ授業料と、特待生制度の充実が挙げられます。本学の特待生制度に関しては、学部の成績が上位8%以内は全額免除、上位15%以内は半額免除という手厚いものです。

学生諸君にアドバイスしたいことは、将来の選択肢として、一度は大学院進学を考えてほしい、すなわち社会の現実を知ってほしいということです。修士課程の2年間は短く、長い目で人生を見れば、決して速回りではありません。また大学院の授業料免除対象の学生はせっかくのチャンスなので、是非それを生かしてほしい。本稿は大学院担当教員からの学生諸君へのチャレンジを薦めるメッセージです。

(文責: 機械工学科教授/鳴海明)

写真で綴るE科FG

フレッシュヤーズ ガイダンス

新入生の皆さんを対象に、4月5日に電気電子情報工学科(以下「E科」と言う)のフレッシュヤーズガイダンス(FG)が開催されました。学科長宇野武彦教授の挨拶からはじまり、クラス担任(万代敏夫教授、小室貴紀教授)とE科教職員全員から一人ひとり自己紹介がありました。続きは写真をご覧ください。



荒井俊彦教授から「グローバルエンジニアコース(JABEE対応EBコース)について」の説明がありました。



クラス懇談会
まずは担任(万代敏夫教授)から自己紹介があり、1年生も一人ひとり自己紹介をしました。



クイズ
雨天のため、キックベースボールを諦めてチーム対抗でクイズをすることに...まずはチーム分けをしています。



クイズの表彰式
クイズで優勝したチームが和やかな雰囲気の中で表彰されました。



ジャンケンで賞品を獲得した新入生へのインタビュー風景。



盛り上げ隊(中津原克己准教授とFGを手伝ってくれた大学院生と4年生の先輩方)が音頭を取って一本締めで解散となりました。

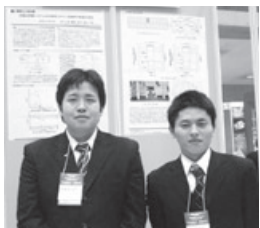
賞品争奪ジャンケン大会
入賞者全員が表彰式に現れなかった為、賞品をジャンケンで分けることになりました。元気いっぱいのジャンケン大会盛り上がりました。

卒業研究生が 東京ビッグサイトで 研究成果を発表!!

卒業生(平成21年度卒業)の晁間章男さん、堀田方哲さん(板子研究室)が研究室で開発した太陽光発電システムにおける瞬時スキャン型MPPT制御システムを3月3日～5日に東京ビッグサイトで開催された「第3回国際太陽電池展PV EXPO 2010」のアカデミックフォーラムにおいて発表しました。

この技術は、太陽電池から効率よく電力を取り出すための制御技術であり、従来の問題点を打開する最新技術です。卒業研究で積み上げた成果を世界の産業界で発表する機会に恵まれ、良い経験になったようです。この経験を是非、今後の仕事等に生かしていただければと思います。

(文責:電気電子情報工学科准教授/板子一隆)



入学前から面倒見ます!

電気電子情報工学科では、昨年まで工業高校出身者を対象として、入学前教育を行ってきました。「電気電子入門講座」と銘打って4日間の集中講義を行い、入学後には単位認定されるものです。

本年度からは、普通科出身者向けの講座も併設して、さらにパワーアップしました。

普通科出身者向けの講座は、乾電池と豆電球を繋げて点灯する実験から始めて、オームの法則などの基礎理論、半田コテを用いた回路製作や測定器の使い方といった、入学後にすぐに役立つ知識や技能を身につける内容で行われ、役に立ったと考えています。最終日には、マイコン回路の製作を行い、参加した全員が自由にLEDを点灯させる回路を完成させることができました。

電気電子情報工学科の出身者は、さまざまな業種に就職して活躍しています。そのような産業界からの様々な要求に応えるために、電気電子情報工学科は理科系・工業系以外の背景を持つ人材にも広く門戸を開いています。

電気技術やコンピュータに不慣れな新入生でも、一人前の技術者になるためのスタートがスムーズに切ることができれば、この講座の役割は達成されたことになるでしょう。

新入生たちの、今後の活躍に期待しています。

(文責:電気電子情報工学科教授/小室貴紀)

「入学前教育」
大学の学習を
スムーズに
スタートさせよう



太陽電池の実験を準備



マイコン回路のプログラミングの説明風景

新任教員の挨拶

4月に着任しました瑞慶覧といいます。私は電気電子工学を利用した環境改善技術を研究しています。私たちが現在快適に暮らせるのは、諸先輩方の汗と涙のお蔭ですが、一方で大気汚染などいろいろな課題も生まれ、これらは私たちが解決していく必要があります。環境改善技術ひとつをとっても、その中には電気、機械、情報、化学、土木、安全などなどの様々な技術が集まってきており、ひとつの技術だけでは成り立ちません。しかし、どれも欠けてはならない重要な技術です。いろいろな専門の方が集まってひとつの製品やプラントを作り上げていくのです。大学で身に付けた専門分野が、社会にでた皆さんのキラリと輝くステキな武器になるよう、一緒に磨いていきたいと思います。そして、将来や未来がより良い社会になるといいですね。

自動車、発電機、工場や船舶などからの排ガスは大気汚染の問題となります。ハウスダストやウィルスなどの存在は、生活していて気になる方も多いでしょう。テレビやパソコンを構成する部品は、空気のきれいな工場でなければ作れません。このような環境の改善を放電・プラズマを利用して実現する研究を行っています。

担当授業科目: 基礎電気回路II、
環境・エネルギー、
電気電子設計製図I

専門分野: 電子化学、静電気、環境



電気電子情報工学科 准教授
瑞慶覧章朝(すけらんあきのり)

フレッシューズガイダンスとは?

充実した学生生活を送るためには、さまざまなルール、方法、しぐみを知っておく必要があります。新入生の皆さんにこれらのことを知ってもらうとともに大学生になることの意識を高めるため、4月1日からオリエンテーションが開始されました。4月5日にはその締めくくりとして、フレッシューズガイダンスが実施されました。学科の全ての教員と2年生、3年生が協力して、新入生の皆さんに対して、応用化学科ならではのルール、方法、しぐみの説明を行いました。

『フレッシューズガイダンス』

新入生の皆さんへ充実のサポート

フレッシューズガイダンスでは、まず学科長の伊熊泰郎教授の挨拶に始まり、全教員とティーチングアシスタント(TA)としての2、3年生の紹介がありました。

学科の数だけカリキュラムがあり、それぞれは全く異なり、独自のものです。大庭武泰准教授より応用化学科でのカリキュラムはどのようになっているのか、その概要が説明されました。また、応用化学科の「化学応用コース」と「総合化学エンジニアコース」は、コースによって目指すものは勿論のこと、授業科目の履修の仕方も異なります。ここでは小島博光教授によってわかりやすく説明がなされました。

最近では卒業後の進路として大学院への進学が目されるようになってきました。三枝康男教授より、本学の大学院の授業料は国立大学並であり、成績優秀者であれば授業料が半額、全額免除されること、さらに他大学大学院への進学実績について説明、紹介がありました。

昨今の不況に対応して、応用化学科では就職活動を行う学生に対してさまざまな支援体制をとっており、平成21年度は内定率が全国平均を上回りました。学生の皆さんには就職に対する意識を高く持ってもらうことが必要です。柴山隆之教授より、長年の教育経験に基づいた説明、指導がありました。

大学生活を送るに当たって、知っておくと得ること、逆に損をしないで済むことがあります。また困ったことが起こったり悩み事ができたりすることは人間ですから必ずあると思います。そんなときは、どこに、誰に相談すればよいのか、学生部長の斎藤貴教授より説明、紹介がありました。

時間割ができた

今年度は新入生を学籍番号で1組、2組と大きく2つにクラス分けし、さらにそれぞれを4つの小さなクラスに分け、教員を1人ずつ担任として合計8人配置(小人数制クラス編成)するという2段階のクラス編成を取りました。

このフレッシューズガイダンスの最終目標の一つは、履修する授業科目を決め、時間割を作ることです。ここでTAを務める2、3年生が活躍しました。どちらのコースを選ぶのか、さらに教員免許や学芸員資格の取得を目指すのかによって、これだけでも6通りの時間割が考えられます。さらにいくつかの科目目標から1つを選ぶことが必要になる場合があります。今年度もいろいろな科目目標を持った2、3年生が集まってくれました。小人数制クラス単位で2、3年生と担任教員が協力して時間割作成の指導を行いました。彼ら彼女らのアドバイスは新入生の皆さんにとって、とても心強いものとなったことでしょう。

友達ができたよ

フレッシューズガイダンスのもう一つの最終目標は友達作りです。まずクラスに分かれて自己紹介を行いました。出身地、趣味などを紹介しあってお互いに理解を深めました。通学に時間のかかる人は同じ境遇の人が他にもいることを知って、お互いに頑張ろう、と気持ちを通じ合ったかもしれません。

フレッシューズガイダンスの最後に全員集まってパーティーを行いました。ここでも2、3年生が活躍してくれました。新入生同士を結び、新入生と教員とを結び、会話が弾むきっかけをつくってくれたと思います。パーティーが始まってあまり時間がたたないうちにあちらこちらで携帯電話のアドレス交換が始まりました。フレッシューズガイダンスの初めころは新入生の皆さんの間に緊張感が漂っていましたが、パーティーが終わり、和やかな表情で談笑しながら集団で帰宅の途につく様子は印象的でした。



2009年度成績優秀者表彰

2009年度の成績をもとに各学年から2名ずつ成績優秀者が選出され、表彰されました。

ここに紹介します(各学年とも五十音順)。

新2年生: 五十嵐 雄一 さん、岡本 倫子 さん

新3年生: 赤穂 英明 さん、井上 雄貴 さん

新4年生: 秋澤 賢 さん、小白木 秀隆 さん

この1年間よく頑張りました。今回表彰されなかった学生の皆さん、次はあなたが表彰される番ですよ!



今年9月、電気化学秋季大会が本学にて開催

社団法人電気化学会は電気化学に関する産業・学術の進歩発展を図ることを目的に昭和8年に設立された学会です。電気化学の基礎と応用に関する研究の推進と、それを基礎とする産業技術の進歩を図り、学術文化の向上と産業の振興に寄与することを使命としています。年2回、春と秋に大会を開催していますが、その秋季大会が9月2日、3日に本学で開催されることになりました。大会開催のため、当学会関東支部長を務めている佐藤生男教授を委員長とする実行委員会が組織されました。全国から研究者をお迎えし、研究発表や討論などを存分に行って頂けるよう、開催に向けて準備が進んでいます。

日本国際賞授賞式に本学大学院生が出席

日本にノーベル賞並みの世界的な賞を、という構想のもとに設立された国際科学技術財団によって授与される世界的に権威のある賞、それが「日本国際賞」です。このたび財団より応用化学科に2010年(第26回)授賞式出席の招待があり、大学院応用化学専攻 坂井佑輔さんと佐藤生男教授が出席しました。「世界的に権威のある賞の授賞式に出席することができて、とても光栄に思いました。現代社会の発展に寄与した受賞者の業績に触れ、大変感銘を受けました。」と坂井さん。日本国際賞についてご興味のある方は、ホームページ<http://www.japanprize.jp/>をご覧ください。

学生同士の交流は学年を越えて

学年を越えた学生同士の交流は大切ですが、なかなかその機会を作ることができませんでしたが、3年生の小俣卓巳さんたちが企画してくれたおかげで、5月5日に学年を越えた学生同士の交流会を開くことができました。当日は2年生から4年生まで約40名の学生と4名の教員が集まり、晴天の下、第2食堂外のテラスでバーベキューを行い、お互いに親睦を深めました。



大学院進学についてご案内

応用化学科では、大学院への進学を卒業後の進路の一つとして指導に力を入れています。実際に毎年多くの学生が大学院に進学しています。平成21年度の応用化学科卒業生は次の大学院へ進学いたしました。

神奈川工科大学大学院	4名	東京工業大学大学院	2名
横浜国立大学大学院	1名	横浜国立大学大学院	1名
静岡国立大学大学院	1名	北陸先端科学技術大学院大学	1名

大学院進学によって、さらに高度な知識と技術を身につけることができます。ですから就職に関して、大学院修了後の選択肢は学部卒業後と比べて格段に広がります。応用化学科の学生の皆さん、大学院進学を考えてみてはいかがでしょうか。神奈川工科大学大学院に関する情報は<http://www.kait.jp/faculty/postgraduate/>で入手することができます。

自動車システム開発工学科

FACULTY OF CREATIVE ENGINEERING VEHICLE SYSTEM ENGINEERING

自動車システム開発工学科の フレッシューズキャンプ

4月4日の入学式終了後、新入生、自動車システム開発工学科の2年生以上の学生・大学院生有志、担当教員が2台のバスに分乗し、会場の静岡県の伊東温泉に向かいました。今年はカレンダーの関係から入学式直後に出発という少し強行なスケジュールとなりました。他学科のように次の土日を利用する案もありましたが、なるべく早く学生同志が大学に馴染むことが重要と考えて、このようなスケジュールになりました。

バスは渋滞に巻き込まれることもなく、伊東温泉には予定よりやや早く到着。少し休憩した後、大広間で夕食を取り、学生生活相談、科目履修相談会を行い、最後にビンゴゲーム大会で学生間の親睦を図りました。ビンゴゲーム大会は自由参加のためか今年は例年より参加者が少なかったのですが好評でした。

次の日は、朝食後、グループに分かれ自己紹介などを含めたクラス懇談会を行いました。自己紹介では出身地、出身高校、趣味や高校時のクラブ活動などの紹介がありました。その後バスに乗り、見学先のコマツテクノセンターに向かいました。このセンターは、大規模な建設機械や作業用車両のデモセンターで、一般道を走ることができない巨大なトラックとかブルドーザー等を間近に見ることができます。天気はあいにくの雨でしたが、学生は大きな作業用車両に乗り込み、興味深くいろいろな箇所をのぞき込んでいました。帰路は途中、伊豆洋ランパークで昼食を取り、本厚木駅、大学へと戻りました。学生のアンケートによると、このキャンプは多くの学生にとって好評であったことがわかりました。

(文責：自動車システム開工学科教授／平山弘)



学生生活や科目履修についての相談会を実施



懇親会ではビンゴゲーム大会を行いました



コマツテクノセンターで大規模な建設機械や作業用車両を見学

プロジェクト授業の 走行会

1年生から3年生の3年間で、自動車を題材にした体験型教育の一環したプロジェクト授業を行っています。3年生の段階では、これまでの2年間で培って来た学習の集大成として、車両開発に取り組んでいます。これは学生が8名程度のグループになって各研究室に所属したうえでそれぞれの専門分野を活かした設計開発を行い、実際に人が乗って「走り、曲がり、止まる」車両を製作します。

その開発の成果報告を兼ねて、4月17日にキャンパス内中央緑地公園で学長をはじめ多くの関係者や在学生が見守る中で走行会を開催しました。当日は晴天に恵まれ、各チームの車両コンセプトの紹介を交えながら大変に楽しい雰囲気で行うことができました。中でもフューエルセル、ソーラーエネルギー、空気エンジン、等々エコ対応をはじめとした将来技術へ繋がる可能性を秘めた車両の走行には参加者の大きな関心を集めていました。

このプロジェクト授業を受講した学生の多くは、チームとしての意味や理論と実際のギャップなど、普段の授業や教科書からでは得られないこと、ものづくりの体験を通してのみ得られる大切なことを達成感を伴って学んだのではないのでしょうか。(文責：自動車システム開工学科教授／森勇輔)



学生の活躍 自動車技術会学術講演会でベストプレゼンテーション賞、ベストポスター賞を受賞

3月5日に開催された自動車技術会関東支部学術講演会において、発表の構成、図表の見せ方や文字の大きさ、時間配分、さらに発表姿勢や質疑応答などが総合的に評価され、学部4年生と大学院生が「ベストプレゼンテーション賞」と「ベストポスター賞」を受賞しました。

【ベストプレゼンテーション賞】

- 「アクティブ制御による車両旋回性能向上に関する研究」 4年 青木 康浩さん
- 「SBW車両の操舵反力特性に関する研究」 大学院博士前期課程1年 酒井 優介さん
- 「ネットワークドライビングシミュレータを用いた事故分析」 4年 吉原 壮登さん

【ベストポスター賞】

- 「MATLAB/Simulinkを用いたSPMSMの速度センサレス制御」 大学院博士前期課程2年 市川 崇行さん

TOPICS

ロボット・メカトロニクス学科

FACULTY OF CREATIVE ENGINEERING ROBOTICS AND MECHATRONICS



伴走者とトレーニングを行う視覚障害を持つ選手

障害者スポーツ競技選手への支援活動

3月27日に、NPO法人関東身体障害者陸上競技協会への支援活動として、ロンドンパラリンピックを目指す選手6名が来学し、本学グラウンドにて練習会を開催しました。今回練習会に参加した選手は、四肢切断の障害を持った選手が3名、視覚障害を持った選手が2名、脳性麻痺の障害を持った方が1名です。選手の中には、切断障害部門で世界選手権男子100m、200mで銅メダルそして北京オリンピック短距離日本代表選手、同じく切断障害部門で世界選手権男子100m4位入賞選手、女子砲丸投げおよび円盤投げの日本記録保持者の選手、脳性麻痺部門100m、200mの日本ランキング2位の選手などが参加していました。どの選手の表情も明るく、積極的に練習に取り組んでいましたが、どの選手も目標は、ロンドンパラリンピック日本代表選手であり、選手だけでなく選手を支えるサポートスタッフの表情の中にも真剣さが伺えました。

学科として、選手をサポートするのは2年目ですが、競技場を終日全面開放し使用できる機会や施設は少ないと、選手やスタッフの方々には大変喜ばれています。また、昼食には、学食を利用して頂き、満足するメニューで大変好評だったようです。今後の支援活動として、施設の提供だけでなく、福祉機器開発や障害者サポートに興味を持つ学生との交流を深め、障害者スポーツ選手の運動支援に対する問題の発見、そしてその解決法の体験学習が行えるような教育にもつなげていくことが期待でき、学科として、障害者スポーツ選手への支援・協力を積極的に進めていければと思っています。本学の施設を利用した選手たちの中から、ロンドンパラリンピック代表選手が生まれることを学科として心より希望しています。



スプリントトレーニングを行う四肢切断障害を持つ選手
(北京パラリンピック代表選手)



スプリントトレーニングを行う脳性麻痺障害を持つ選手

(文責：ロボット・メカトロニクス学科教授 / 高橋勝美)

卒業研究生が第16回ライフサポート学会 フロンティア講演会で研究発表

ロボット・メカトロニクス学科4年生(現在、大学院ロボット・メカトロニクスシステム専攻1年)の谷澤岩人さんが、3月6日、東京大学工学部で行われた第16回ライフサポート学会フロンティア講演会に出席し、研究発表を行いました。講演論文名は、卒業研究論文と同名の「共遊玩具における能動触知覚に関する研究」です。発表前日まで研究室で繰り返し練習を行い、登壇前は相当緊張している様子でしたが、堂々とした発表で質疑応答もしっかりしておりました。発表までの弛まぬ努力と発表経験が谷澤さんにとって自信と今後の励みになることを期待しております。

(文責：ロボット・メカトロニクス学科教授 / 磯村恒)

谷澤岩人さんの感想

卒論を仕上げたから分析する要素を追加したので、内容を発表時間内にまとめるのに苦労しました。学外で発表を行うのは初めてで、周りが院生ばかりだったため緊張しましたが、他大学の研究発表や、自分の研究に対して指摘していただけたことは収穫でした。自分は現在院生なので、この経験を次の学会発表に生かして行きたいと思います。

新任教員あいさつ 福祉工学の研究と教育に向けて

4月1日より、創造工学部ロボット・メカトロニクス学科に着任致しました。東北大学大学院情報科学研究科助手、山梨大学大学院医学工学総合研究部助教を経て、本学に赴任致しました。私は学生時代にバイオエンジニアリングに興味を持って以来、幸運にも一貫して医工学・福祉工学分野の研究開発に携って参りました。現在も人間の身体運動を中心に、その機能や機構を工学的視点から分析し支援するための研究開発に取り組んでおります。なかでも、歩行は日常生活の基本動作であると同時に多くの疾病疾患と関連し、その機序に関しては機械工学的にも特に興味深い対象です。そのため、これを継続的なテーマとして、その姿勢、運動生成、接触の問題について、機械運動力学、メカトロニクス、システム制御工学などを基盤としながら研究を進めております。発展として、身体に取りつける小型のセンサによる行動・移動の追跡技術、転倒リスク評価を企図した姿勢安定性・安定余裕の定量化に関する研究があります。近年

は、脳を介さない身体運動の制御をなす脊髄反射回路のシステム同定、構造最適化手法の福祉器具設計・評価への応用などの研究にも着手しております。ロボティクス応用としての人間理解、人間支援のための取り組みを指向しますが、ひとつの見地に固執することなく、学生のみならずとも関連な研究教育を行って参ります。何を問題とし、どういった働きかけにより改善が可能か、そして、技術を実際の問題にどう介入させ適用するべきか、そのアプローチと想定される効果までを丁寧に議論することが重要と考えております。多様な専門性を有する教職員との連携のもと、その実践に最大の努力を注ぐ所存です。若輩ではありますが、皆様には今後ともご指導ご鞭撻を頂けますよう、よろしくお願い申し上げます。

大瀧保明 准教授



電力館でのイベントにパワーアシストスーツを出展

3月20日～3月22日に渋谷の電力館にて開催された「来て見て体験! 電気をつくる!～地球に優しい～未来の生活展」(主催: 社団法人日本電気協会)にロボット・メカトロニクス学科山本研究室で開発しているパワーアシストスーツと足の体験機を出展し、説明および、体験、デモンストレーションを行いました。

このイベントは、明治11年3月25日に日本で初めて電気が点灯された、その記念日にちなんだものです。日本で初めて点灯されたデューボスク式アーク灯の模型や、電気の歴史、「発電床」で点灯するイルミネーションなどが展示されていました。

会場内のロボットふれあい広場にて、ロボビークルや癒しロボット「パロ」、二足歩行ロボットなどと一緒、パワーアシストスーツを出展しました。連休中の開催で、会場が渋谷駅の近くで入場が無料だったこともあり、一時、入場制限を設けるほどの大盛況で、大変多くの方々に見学や体験をしていただきました。体験された方々には、「早く実用化して欲しい!」「不思議だ!」など、大変興味を持っていただきました。

(文責：工学教育研究推進機構・技術支援室 / 石井峰雄(山本研究室))



電力館(東京・渋谷)でのイベントでデモンストレーション



「開発プロジェクト研究」始動

PBL教育を重点的に進めることは本学科のカリキュラムの特徴です。学科設立から3年目の今年、3年生向けの「開発プロジェクト研究」がスタートしました。

本科目の目的は、プロジェクト研究I及びIIで習得した問題解決能力や設計製作技術を応用して、学生が主体となり、1年間を通して家電技術に関連するテーマに積極的に取り組みます。そして、教員指導の下で、PDCAサイクルを実践し、卒業研究につなげます。

今年度のテーマは表1のように、関連企業から提示されたテーマ(No.1～10)や教員が設定したテーマの他、学生自ら提案したものなど計16テーマです。製品の設計製作・性能評価から、商品の企画提案までいろいろなものがありました。現在学生たちが積極的に研究活動を進めて、来年の1月に成果報告会を行う予定です。

(文責：ホームエレクトロニクス開発学科教授／黄啓新)

開発プロジェクト研究テーマ一覧

No.	テーマ名	提示
1	一人暮らしの省エネの実践調査	東京電力(株)
2	インバータ式洗濯機の洗浄性能の比較検討	日立アプライアンス(株)
3	温風乾燥機による乾燥性能評価について	東芝キヤリア(株)
4	マイクروفンの製作と性能評価	(株)オーディオテクニカ
5	新型セキュリティセンサーの実住宅での性能評価試験	(株)トランスパーチャル
6	炊飯ジャーの制御プログラムと美味しいご飯に関する研究	パナソニックテクニカルサービス(株)
7	電動バイクの性能改善に関する検討	(株)AFT
8	未来デジタル家電製品を開発しよう	ソニー(株)
9	ユニバーサルデザイン技術について	東芝デザインセンター
10	家電製品の特徴分析と新しいデザインへの提案	東芝デザインセンター
11	自然エネルギーの有効利用について	本学科教員
12	ホームネットワークによる家電制御	本学科教員
13	画像の最適撮影について	本学科教員
14	人の動きに合わせた音場制御について	本学科教員
15	LEDによる新しい照明技術に関する検討	本学科教員
16	デジタル画像処理技術に関する検討	学生自主課題

進学フェスタで家電製品技術の魅力を紹介 体験ブースで高校生が電子工作に挑戦

4月22日、パシフィック横浜の展示ホールにて、高校生のための、大学・短期大学・専門学校の進路イベント「進路フェスタ2010」が開催されました。このイベントの目玉ともいえる「大学の学び体験」に本学科が出席協力しました。

ブースでは「身近にあるプラズマ家電」と題して、空気清浄機(ナノイー、プラズマクラスター)、プラズマテレビの紹介を行いました。高校生からは、「プラズマという言葉は聞くけどそれが何かはわからない」という意見が多く、プラズマの説明をするに興味深そうに聞いていました。

また、LEDコースターの製作を先着10名限定で行い、電子工作が初体験の高校生も楽しみながら製作していました。製作体験をした高校生の中には、「オープンキャンパスに参加して改造したい」という生徒もいました。

このような体験を通して、参加した高校生が本学に興味を抱き、入学してくることを願っています。

(文責：ホームエレクトロニクス開発学科助教／三輪貴行)



LEDコースターの製作
電子工作が初体験の高校生も楽しみながら参加していました。

FRESHERS GUIDANCE

大学生としての スタートライン

新入生ガイダンスの最終日である4月5日にフレッシュャーズガイダンス(FG)を開催しました。内容は講演会と交流会の2部構成になっており、先週まで行われていたガイダンスとは異なるスタイルで実施しました。

講演会では、東京電力株式会社くらしのラボの奥田所長に「低炭素社会の実現に向けて期待されていること」と題して、社会全体がCO₂削減目標に向けて実行していることや、個人が取り組めるCO₂削減についてなどの内容で講演が行われました。家電製品を交えた講演であったため解りやすく、そのなかでも「掃除機の強弱吸引性能と消費電力の比較」では、身近な内容でかつ意外性のある事例でした。そのため講演会のアンケートには「わかりやすく家でもすぐに実行してみたい」との回答が多くあり、低炭素化社会への意識の動機づけができたのではないかと思います。

午後の交流会は、会場を学外に移し、新入生全員のボーリング大会を行いました。学科の教職員を交えて4、5人のグループになり、約1時間汗を流しました。体を動かすことで緊張も程よくほぐれ、良い気分転換になったのではないかと思います。

このFGで4年間大学生としての意識や友達との結束ができ、全員そろってスタートラインに立てたのではないかと思います。

(文責：ホームエレクトロニクス開発学科助教／三輪基敦)

電子ロボと遊ぶアイデアコンテスト始動 ～学生実行委員会が開催準備に活躍しています～

高校生を対象としたレゴマインドストームを活用した課題攻略型ロボットコンテストの準備がスタートしました。本学のコンテストは、参加高校生の聖地的存在で、多くの有力チームが参加する日本有数の大会です。大会運営を進める学生実行委員会は本学科学生を中心に構成され、講習会の教材づくりや課題コート作製など、授業時間外でボランティア的に協力しています。特に本学科にはワールドロボットオлимпиаード(WRO)の参加経験をもつ学生やサイエンスキャンプなどの科学体験教室への協力学生も多く、実行委員会メンバーのモチベーションや積極性は年々向上しています。

本年度は8月5～6日に本学メディアホールにおいて「WRO-J2010神奈川地区高校生公式予選会」としてRCXとNXT両部門で開催し、上位チームは9月11日開催のWRO-J日本決勝大会に参加の予定です。

(文責：ホームエレクトロニクス開発学科教授／金井徳兼)



昨年度大会の様子：大会運営をサポートする学科学生有志たち

新バイオファミリーを迎えて「B科恒例の縦コン2010」開催

2010年4月、応用バイオ科学科は146名の新生を迎え元気にスタートをきりました。第5期生の誕生です。彼らの入学を祝い、恒例行事となった「歓迎会」を第1食堂で開催しました。学部2年生から大学院生までも加わり、総勢200名を超える大歓迎会となりました。文字通り、縦割りコンパです。先輩から新生へ「実験は絶対にサボルナよ!」「レポートで分からない所は、俺に聞きに来い!」など、頼もしいアドバイスがあり、有意義なイベントとなりました。



時間が経つにつれ新生も次第に打ち解けてきました



縦コン開始直後(新生の表情は、まだ固いです)

フレッシューズキャンプ2010

新バイオファミリー(新生)同士の親睦・交流を深めるために、4月10日、11日の2日間、白子温泉(千葉県)に宿泊して様々なイベントを行いました。一日目は授業内容紹介とクラス毎にわかれて自己紹介・他己紹介、二日目はパークゴルフ大会を栄養生命科学科と合同で行いました。新生たちが楽しみながら各イベントに取り組み、交流を深めている様子が印象的でした。この2日間でファミリーの結束力がグッと高まったことは間違いありません。



仲間と夕食を食べています



パークゴルフを楽しんでいます



パークゴルフ大会を終えて

米国シアトルでの海外バイオ研修2010

ワシントン州立サウスシアトルコミュニティカレッジ(SSCC)で行われた「海外バイオ研修」に、今年も7名の学生(2年生の伊藤祐弥さん、青柳歩未さん、近藤舞衣子さん、大島佑貴さん、小林紫乃さん、田村太志さん、安田祐樹さん)が参加しました。2月中旬からの1ヶ月間、ホームステイで生活しながら、語学研修(3週間)+バイオ実習(1週間)、という英語漬けの毎日を送りました。修了式では、学生だけでなくSSCCの先生方も涙を流す様子が印象的で、異国の地で心の通ったコミュニケーションができていたことが伝わってきました。

8月には、SSCCのマーク先生による「バイオ特別実験」が本学で開講されます(もちろん講義は英語です)。参加して、海外バイオ研修の雰囲気を感じてみませんか。



Dynagene社の企業見学を終えて

バイオファミリー1期生巣立つ

バイオファミリー1期生の卒業式・学位記授与式が3月20日に行われました。授与式では、指導教員からユニークで重みのあるコメントを添えて、一人ずつ学位記が手渡されました。その後場所を移して、B科の卒業パーティーが行われ、涙あり笑いあいの最後の全体会を楽しみました。卒業生のテップチャック・アヌサーさん(タイからの留学生)は4年間を振り返り、次のようなコメントを残しています。「B科は、楽しみながら知識を蓄えることができる学科だと思います。また勉強だけでなく、友人との関わりも含めて、経験したことすべてが自分自身の成長につながりました。タイに帰国しても、一期生としての誇りを胸に羽ばたいていこうと思います。」1期生の皆さん、困難に遭遇したときも、B科で過ごした4年間を思い出し、元気に頑張ってください。



B科の卒業パーティーを終えて



卒業発表後、アヌサーさん(左から2人目)の日本語学校の先生(右から2人目)と一緒に

国際学会でポスター賞受賞

4月25日~30日にタイで開催された国際学会(International Conference on Flow Injection Analysis)で、大学院生の生月俊也さん、長嶋久美子さん、卒業生のテップチャック・アヌサーさんの3名がポスター発表を行い、生月さんが「植物細胞の保存に関する研究」で、見事ポスター賞を獲得しました。21カ国から200人以上の参加があり、ポスター賞受賞は、ポスター発表145件のうち6件でした。「卒業研究で1年間努力した結果、このような賞をいただけたということはとても光栄に思っています。今回の経験を糧に、今後の研究に取り組んでいきたいです。」と生月さんは抱負を述べました。



ポスター賞を受賞した生月さん(右)

地域交流 幼稚園児のワクワクドキドキ大学探検

3月4日、七沢幼稚園の園児(年長さん)26名のために、B科の学生12名(柳館奨さん、大野正昭さん、島内孟紀さん、菅原瑞穂さん、川村瑠美さん、岩岡史さん、猪又真麻さん、田澤希望さん、久保田光さん、辻綾香さん、芝岡佑夏さん、白石有希さん)が、パズルピースを集めながらの学内探検を企画しました。子どもたちは、様々な施設をまわり、ゴールの第一食堂でパズルを完成させ、手作りのメダルを受け取って喜んでいました。子どもたちにとっても、学生たちにとっても貴重で楽しい体験となりました。



メダルをかけて記念撮影

新任教員あいさつ 教授 局 俊明

はじめまして。4月に応用バイオ科学科に赴任しました。3月までは、民間のエンジニアリング会社の研究所で、下水処理装置などの環境関連研究開発を担当していました。

着任して、初めに感じたことは、「若さにあふれたエネルギーあふれる大学」ということです。学生の皆さんは、希望と新しい知識を吸収しようという意欲にあふれ、無限の可能性を感じさせてくれました。また、教員の方々も、大学独自の手作りのカリキュラムに則った熱意にあふれた指導をされていることに感銘しました。この指導にしっかりついていければ、将来、実社会で十分に通用する実力がつくことを確信しました。私も、先輩の先生方に負けぬよう、教育と研究の両立に向けて、頑張っていこうという気持を新たにしているところです。

【担当科目】
バイオ工学基礎、バイオ基礎実験、バイオ入門、バイオ英語I・II、コンピュータープログラミングI、環境保全学、バイオ実験I、機器分析実験I

【専門分野】
生物反応工学、環境工学



学科長あいさつ 体、心、そして、社会の健康に 貢献できる管理栄養士を目指して

健康の基本は食生活です。日本が世界最長寿国の地位にあるのも、継続した食事改善が行われてきたからです。現在、食の安全、メタボや生活習慣病への関心などから、より良い食生活へのニーズが一層高まっています。そしてその責務を担う者として、管理栄養士の存在がクローズアップされています。しかし、それに見合う能力を備えた人材は不足しているのが現状です。栄養生命科学科では、そんな時代の要請に応え、そして次代の食環境を創造するための、高度な教育を行っています。バイオ科学関連も含めた国内有数の施設・設備のもと、栄養に関する多彩な研究活動も行っていきます。また工科大ならではの特色を活かしたカリキュラムのもと、情報技術の修得にも力を入れていきます。体はもちろん、健全な心、さらに食材の選定・提案などを通じ、経済・社会の改善に貢献できる、高いスキルと広い視野を備えた管理栄養士を育てていきます。



学科長 特任教授
江指 隆年

フレッシュャーズ・キャンプに 行ってきました

去る4月10日～11日に白子温泉にてフレッシュャーズキャンプを行いました。ホテルに到着後、早速、松本学部長、江指学科長から、本学になぜ管理栄養士を養成する学科「栄養生命科学科」が設置されるようになったか、等、管理栄養士に向けての動機付けとなるお話がありました。夕食後は、一人ひとり自己紹介を行い、そこで、どのような管理栄養士を目指したいかをお話してもらいました。「病院で働きたいです」、「アスリートの栄養管理をしたいです」、「管理栄養士を取得して、食品会社の研究職に勤務したい!」、「栄養教諭として働きたい!」など様々な夢を語ってくれました。翌日は、応用バイオ科学科とついにパターゴルフを行い、教員や学生が一緒になって楽しみました。みんなの前で語ってくれた夢を4年後現実のものへとしたいですね。



ピックアップ授業



調理学実習I

調理学実習Iの授業は、第5回までの実習を終え、日本・西洋・中華料理の特徴的な調理技法や配膳形式、ゼラチンや寒天などの異なるゲル化剤を用いたデザート作りを通して、材料の特徴や取り扱い方の違いなどを学んでいます。調理実習では調理操作の時間配分と役割分担がとて大切であるため、チームワークが重要となります。最初はぎこちなかった調理操作も、回数を重ねるたびにみんな手際が良くなってきました。先生と学生の距離も近く、学生が何でも気軽に質問できる雰囲気の中、調理からその後の試食、片付けまで生き生きと実習を行っています。



化学基礎実験

本学科が目指す管理栄養士は、『サイエンスのセンスを備えた管理栄養士』です。化学基礎実験では、化学及び生物に関する実験を行っていく上での基礎を学びます。今後さまざまな実験をするにあたり、フローチャートの描き方、器具の安全な取り扱い方、化学物質の性質と安全性の理解、レポートの書き方などをしっかり身につけることが目的です。授業の終わりには、教員が学生一人ひとりに対して課題をチェックします。チェックの早く済んだ学生は、まだ悩んでいる学生に積極的に教えるなど、学生同士で協力し合う姿もしばしば見受けられます。本実験は1組と2組が一緒に行う唯一の実習なので、両組の学生がペアになるように班分けしました。基本操作ひとつでも実験には個性が表れます。実験中は教員だけでなく学生同士が互いにそれぞれの意外な一面を発見する時間でもあります。



情報処理実習

本学科では「サイエンスのセンス」に加え、『「情報処理・発信力」を有し、「コミュニケーション能力」をもつ管理栄養士』を養成したいと考えています。その入門にあたる実習である「情報処理実習」が始まりました。場所は新しい教室、通称「キッチンスタジオ」。現在、講義の多くはここで行っていきますが、各機のふたを開けるとノートPCが設置されています。現在はパワーポイントでプレゼンテーション資料の作成に取り組んでいます。来月には生化学実験Iでの実験内容をプレゼンテーションしてもらいます。自分の言いたいことが相手にうまく伝わるか…この様子は次号でお知らせいたします。このご期待!



フレッシュャーズ・ガイダンス

FG2010報告

情報工学科フレッシュャーズ・ガイダンス(FG2009)が、入学式の翌日4月5日に早速開催されました。開花が遅れるのではないかと心配されていた桜も、新入生の皆さんを学科に迎えるこの日を待っていたかのように満開に咲きそろいました。メディアホールで講演が行われ、小平邦夫学科長から「大学4年間をどう送るべきか」というテーマで、充実した大学生活を送るための知恵を養うようにメッセージが送られました。また、有意義な大学生活をおくるための指針として、進学や就職に関する説明が教務委員の木村誠聡教授、就職委員の西尾高典准教授からなされました。講演終了後にはクラス毎に、豪華お弁当を食しながら談話し友情の種を育みました。



学科長からのメッセージ講演「大学4年間をどう送るべきか」



講演終了後、クラスごとにわかれて昼食会

新任教員のごあいさつ

自ら考えアイデアを生み出そう! そのアイデアをソフトウェアとして 具現化しよう!

4月に情報工学科に着任いたしました。それまでの23年間、企業の研究所でソフトウェア工学や情報システム連携技術の研究開発に取り組んで参りました。また、それと並行して具体的なシステム開発にも携わり、実践的な技術開発を推進して参りました。いいアイデアが生まれたとき、それをすぐに試してみることができれば、どんなにすばらしいでしょうか。ソフトウェア工学は、アイデアをより速くより正確にソフトウェアとして具現化するための学問です。ソフトウェアの開発には確かな技術が必要なのはもちろんです。それを役立つものとするには、ソフトウェアの利用シーンや利用者のIT習熟度にも思いを巡らせながら、何を作るのか、なぜ作るのかを深く考える必要があります。時には利用者のこれまでの考え方やライフスタイル、ワークスタイルを一変させるような、自由な発想も必要となります。学生の皆さんには、確かな技術と自由な発想をもって自ら深く考えることで、いいアイデアを生み出しソフトウェアとして具現化してほしいと思います。具現化の方法を共に確立してゆきましょう。



情報工学科 教授
田中 哲雄

■担当授業科目

ソフトウェア工学、ソフトウェア基礎論、オペレーティングシステム、情報工学実験、情報工学セミナー

■専門分野

ソフトウェア工学、情報システム連携技術

普段から当たり前のように使っている情報システムでも、それらを組み合わせることで新しい価値が生まれます。しかし、もともと異なる目的で開発されたシステムは、簡単には組み合わせることができません。役に立つシステムの組み合わせ方を見つけたとき、誰もがすぐに試してみることができ、そんな世界を目指して研究しています。

学生の学会発表

電子情報通信学会総合大会にて 優秀ポスター賞受賞!

3月16日～19日に東北大学で開催された電子情報通信学会2010年総合大会において、情報工学科の月森彩実さん(山本・宮崎研究室)が、「優秀ポスター賞」を受賞しました。また、本大会には、情報工学科学生より発表が9件、ポスターセッション発表が7件、教員と他大学の共同研究発表が2件の計18件の研究発表がありました。



優秀ポスター賞を受賞した月森彩実さん

【研究発表・9件】

「ファジー推論を用いた雑音重畳画像からのエッジの抽出法」

石井聡・馬場賢浩・小沼陸・木村誠聡(神奈川工科大)

「リアルタイム畳み込み画像処理回路の実装」

片山卓也・中村幸弘(神奈川工科大)・目黒壮典(マイクロ・テクニカ)・木村誠聡(神奈川工科大)

「加速度センサを用いた動作認識における認識前処理の効果の検討」

岡村将志・木村竜・平子久智・西村広光・五百蔵重典・田中博(神奈川工科大)

「ウェアラブル加速度センサを用いた操作動作の開始判断手法」

木村竜・岡村将志・平子久智・五百蔵重典・田中博(神奈川工科大)

「超音波を用いた位置検出における同期誤差シミュレーション」

須永光・羽田昂史・五百蔵重典・田中博(神奈川工科大)

「超音波測位システムにおける同期誤差の測定と評価」

羽田昂史・須永光・五百蔵重典・田中博(神奈川工科大)

「ネットワーク分析を用いたゲームソフトの購入要因分析」

沓澤将・佐賀亮介・北見孝大(神奈川工科大)

「CAVEにおけるWiiRemoteを利用した入力インターフェースの検討」

石川智浩・井上哲理(神奈川工科大)

「加速度センサを用いたローマ字による日本語文字入力方法の提案」

平子久智・木村竜・岡村将志・西村広光・五百蔵重典・田中博(神奈川工科大)

【ポスターセッション発表(情報・システムソサイエティ)・7件】

「拡張現実におけるパズル式マーカーの提案～部屋のレイアウト支援システム～」

月森彩実、宮崎剛、山本富士男(神奈川工科大)

「高速道路合流部における接触事故防止モデルに関する一検討」

石澤祐、青山健太、工藤学、木村誠聡(神奈川工科大)

「短距離微弱電波を用いた画像の送受信システムの開発」

芝原拓也、木村誠聡(神奈川工科大)

「Webカメラを用いた複数ボールの軌跡作画」

関谷昌和、木村誠聡(神奈川工科大)

「INDEX サーバシステムを用いたレシピ管理システムの開発」

小幡瑞美、佐賀亮介、木村誠聡(神奈川工科大)

「画面書き込み型e-Learning システムの検討」

佐藤功如、納富一宏、示野浩士、西村広光(神奈川工科大)

「ハードウェア実装を目的としたファジーフィルタの簡略化の提案」

中村幸弘、片山卓也、木村誠聡(神奈川工科大)・穂本和昌(京セラ)

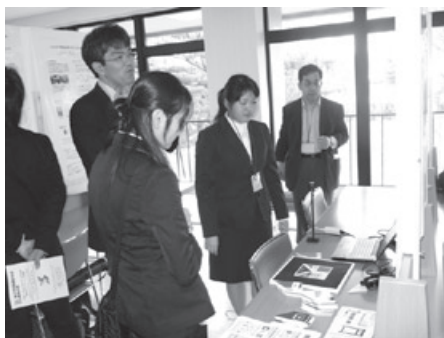
【教員と他大学の共同研究発表・2件】

「発話映像中の初口形検出方法の提案」

宮崎剛(神奈川工科大)・中島豊四郎(椋山女学園大)

「解像度強調を伴う任意倍率画像拡大法のFPGA実装」

大塚規美登(東京都市大)・木村誠聡(神奈川工科大)・田口亮(東京都市大)



ベリサイン認定アカデミックプログラム～世界に通用するセキュリティ分野の資格～カリキュラムに取り入れ、2009年度に16名が認定資格を取得

情報ネットワーク・コミュニケーション学科のセキュリティコースでは、日本ベリサイン認定アカデミックプログラムを大学として初めて導入して、16名の受講生がこのプログラムに認定されました。

ベリサインは、セキュリティ分野で世界的に有名な企業であり、インターネットを安全に利用するための技術を提供しています。このプログラムは、電子証明書/PKIソリューションの実装・管理に必要とされるスキルを学ぶセキュリティトレーニングプログラムを教育機関向けにアレンジしたもので、受講生が実際の電子証明書を用いて暗号化や電子署名の実習を行えることが大きな特徴です。このプログラムに合格すると、国際的な認定証を取得できます。本学科では、他大学にはないこのプログラムを活用することにより、企業が求める情報セキュリティエンジニアの育成を目指します。



【ベリサイン認定アカデミックプログラム受講生の声】

- 「セキュリティ分野のトップベンダーであるベリサインのカリキュラムで、最先端の電子認証技術を学びたい」
- 「Webサーバの構築やメールの暗号化などの実習に興味がある」
- 「就職活動において、セキュリティ技術に対する知識・能力をベンダー資格で示したい」
- 「電子認証の技術だけでなく、関連した法律やマネジメントが学べた」
- 「実習を通じて、SSLの設定やメールの暗号化などの実践的な知識が身につけられた」
- 「就職する企業で、情報セキュリティの提案や、安全性の高いサービス・製品開発に貢献できる」 etc.

研究紹介 ウイルス攻撃の見える化!

情報ネットワーク・コミュニケーション学科
准教授 岡本 剛

インターネットには、様々なウイルスが流行しています。平成20年度の卒業研究では、インターネットにコンピュータを接続すると、1分に1回ぐらいの割合で、ウイルスらしき不審な攻撃が観測されました。さらに、おとりシステムを使ってウイルスを収集したら、たった1台のコンピュータで、約1年間に、2,198種類のウイルスが見つかりました。その中には、29種類のウイルス対策ソフトのうち、3割ぐらいしか、そのウイルスを発見できませんでした。つまり、7割ものウイルス対策ソフトが発見できませんでした。

岡本剛研究室では、ウイルスの問題を解決するため、ウイルスの流行調査や、ウイルス攻撃の可視化、ウイルス攻撃の検知などについて研究を進めています。ここでは、平成21年度の卒業研究の1つ「ハニーボットの可視化」(*)を紹介します。

ウイルスに感染する様子を簡単にまとめると、図1のようになります。まず、感染したコンピュータが他のコンピュータを攻撃し、攻撃が成功すると、コンピュータを乗っ取ります。ウイルスはウイルスの本体をインターネットからダウンロードし、そのウイルス本体を実行します。このようにして、コンピュータはウイルスに感染します。卒業研究では、この様子をリアルタイムに観察できるようにするツールを作成しました。図2は、ツールの画面の1つで、攻撃の様子を示しています。図2の中央の白丸がネットワークを監視しているコンピュータで、その周囲の丸が不審なコンピュータを表しています。特に、紫色の丸は、実際に攻撃を行って、感染させようとしたコンピュータを表しています。図3は、コンピュータが感染させようとしたウイルスの一覧などが表示されています。このようなツールを利用して、ウイルス攻撃の特徴を分析します。

*有馬拓弥：「ハニーボットの可視化」、平成21年度 卒業論文



図1 ウイルス感染の流れ



図2 攻撃の様子

図3 ウイルスの一覧

新任教員の挨拶

「より安全・安心なネットワーク社会を目指して」

情報ネットワーク・コミュニケーション学科 教授 岡崎 美蘭

情報ネットワーク・コミュニケーション学科に着任しました岡崎と申します。私は、これまで主にネットワークセキュリティ分野の研究に従事してきました。

現在、コンピュータネットワークが一般社会に浸透することによって、私たちがいどこに行っても、すぐにインターネットに接続可能な状況になってきました。そして、必要な情報を得たり、買い物をしたりと、日常生活の中で意識せずにITの恩恵を受けています。しかし、このようなネットワークサービス利便性の向上は、同時に利用者の安全性の低下を招いており、個人情報漏えいやサイバー犯罪などの社会的な問題を引き起こしています。

皆さん、私と一緒により安全・安心なネットワーク社会を目指して、さまざまな課題を解決するための研究に挑戦してみませんか？

【専門分野】

ネットワークセキュリティ、ネットワークの高速化

誰でも安心して使える安全・便利なネットワークシステム構築に関する研究を進めています。そのために、高速なセキュア通信プロトコルの開発やネットワークシステムへのアクセス制御方式、ならびにセンサーネットワークの高信頼性に関する研究などを行っています。

【担当科目】

情報セキュリティマネジメント、情報セキュリティ、情報ネットワーク基礎実験I



「知識ではなく知恵を学ぼう」

情報ネットワーク・コミュニケーション学科 准教授 岡本 剛

この4月より、情報ネットワーク・コミュニケーション学科に着任いたしました。岡本と申します。13年間のサラリーマン生活から、大学という場所に久々に戻ってきました。毎日がとても新鮮で発見の連続です。一度社会に出た人間から見て、大学というものに思うところは様々あります。自分が社会に出てから、大学で学んでおいて助かったと思うことは、決して暗記で得るような知識ではなく、巧みに問題解決を行う能力=知恵、でした。私自身、学生のみなさんには、知識ではなく、知恵を伝えていければと思います。新任ということで不慣れで至らない点も多いと思いますが、どうぞよろしく願いいたします。

【専門分野】

情報セキュリティ、電子認証・署名、アイデンティティ連携

安全安心なネット社会を作るための情報セキュリティを専門にしています。特にネットワークサービスを利用するための電子認証や、ネット社会における匿名性、電子投票のような新たな仕組み作りについての研究をしています。

【担当科目】

C言語I・II(演習)、論理回路(演習)、情報ネットワーク基礎実験I



Fresher's Guidanceが実施されました

平成22年4月5日に情報メディア学科のFresher's Guidance (以下FG) が開催されました。今年度からは授業スケジュールの関係で午前中に本学科のオリエンテーション、午後からは配布PCの説明会、そして12Fカフェテリアにて懇親会の実施という、少々、慌ただしいスケジュールで実施されました。

午前の部でのオリエンテーションでは、学科長の速水教授から、新しく情報メディア学科の一員となった新入生へ、4年間、本学科で学ぶにあたっての心得とアドバイスをいただきました。その後、昨年度に基本情報処理技術者検定をはじめとする資格を取得した先輩学生への表彰式が実施され、壇上で表彰される情報メディア学科の先輩方の姿は、これから本学科で勉強を修める新入生にとってこの上ない励みとなったと思います。

夕方からは、12Fカフェテリアで教職員、学生、入り交じっての情報メディア学科FG懇親会が行われました。残念ながら今年度のFGでは、学生同士が交流する時間が少なくなりましたが、それでもいたるところで楽しく歓談する新入生を見ることができ、早速、友達となつて、お互いの連絡先を交換し合う姿もありました。今日の出会いを大切に、互いに競い合い、励まし合つて、4年後卒業を迎えてほしいと思います。

(文責：情報メディア学科助教/鈴木浩 (FG委員))



情報メディア学科全教職員が登壇、学科長からは4年間の心得のお話がありました



各種資格を取得した先輩たちの表彰式を1年生は間近で見ました



教職員、学生入り混じっての懇親会

アメリカ合衆国ニューヨーク Onishi Galleryで情報メディア学科 学生CG作品が MR上映される

3DCGアニメーションに関し世界で最も権威ある国際学会 SIGGRAPH 2009 にて、情報メディア学科卒業で本学大学院生の落合勝智さんと齊藤弘さんが入選発表した「力学シミュレーションに基づく蝶の羽化3DCGアニメーション」が、CANON製 Mixed Reality システムの販売店の方々目に留り、5月15日～29日に渡り、アメリカ合衆国ニューヨーク Onishi Gallery で展示上映されました。http://onishigallery.com/exhibitions/mr-mixed-reality-technology

このWebの写真の如く、Head Mount Display を通じて見える Real な空間に、Virtual な3DCGコンテンツを合成して見せるシステムがMixed Realityであつて、視覚化教育やCGエンタテインメント等の分野へ、今後、急速に普及して行くと思われれます。CANON MRシステムの広報用コンテンツへ、学生CG作品が採用されるという形で産学連携が成立した事から、情報メディア学科服部元史教授とヒューマンメディア研究センター高内一平客員研究員のグループでは、MRシステム向けの3DCGコンテンツの開発と創作の研究を、今後も推進して行きます。



Canon製MRシステム装置



Realな空間にVirtualなCGが合成される

新任挨拶 情報メディア学科 准教授 白井 暁彦

電機メーカー、ゲーム産業での勤務を経て、東京工業大学知能システム科学での博士(工学)を取得し、放送技術研究所、フランスでのテーマパーク開発、国立の科学館など世界の分野で活動し、縁あって4月より「大学教員1年生」として本学に着任いたしました。若者に勇気を与え、日本を革新するような活動を行い、大学の看板になれるよう切磋琢磨していきたいと思つています。応援よろしくお願ひいたします。

研究室HP「http://shirai.la」メールニュース発行中

【専門分野】

インタテイメントバーチャルリアリティ

VR技術を人々の娯楽に寄与するコンピュータシステムとして設計します。近未来のTVゲーム・インタラクティブ技術の提案、コンテンツ開発におけるエンジニアリング、科学的理論の構築が中心です。

メディアアート

テクノロジーをメディアとして再定義し、人々にメッセージを伝える作品を工学・芸術の両面から極め、制作します。個人作品制作だけでなく、国際展示会のキュレーションなども探究しています。近年ではWiiリモコンを使った作品探究のための教科書「WiiRemoteプログラミング」(オーム社)を執筆しました。

科学コミュニケーション

複雑多岐にわたる先端科学技術を分かりやすく一般に伝え共有する技術です。日本科学未来館など国や地域の科学館、オープンキャンパスといった場で、プレゼンテーションを行ったり、人々の科学理解を標準化可能な方法で計測するための手法を研究しています。

【担当科目】

情報メディア基礎演習I、コンピュータアート



速水研究室大学院1年生手塚悠太さん学部卒業研究での発明を特許出願

本人であることを証明(個人認証)して使用するWebサイトは、ログイン時にユーザIDとパスワードが要求されます。このようなサイトを多数利用するユーザは、その組を多数記憶する必要があります。同じ組を使い回したり、パスワードを簡単にしたりすると、他人に不正利用される危険性が高くなります。そこでユーザ毎に利用するWebサイトのユーザIDとパスワードを一括管理するシステム(シングルサインオンシステム)を考案し、そのシステムへのログインに携帯電話の個人識別番号とワンタイムパスワードを使用してユーザ認証を行う方法を発明しました。携帯電話を所持すれば優先にあるPCからでも使用できるのでユーザにとって利便性が高く安全性も高い方式です。携帯電話の個人識別番号は、基本的には世界で唯一無比の値であり個人認証に適していますが、模倣されたりして成りすましに悪用される恐れがあります。そこで、ワンタイムパスワードと組み合わせる方法がこの発明のキー技術です。

これは職務発明に該当し、TAMA-TLOIにより先行技術調査が行われ、類似目的の発明はあるが、その技術を回避し進歩性があり実用性もあると認められ、工学教育研究推進機構を通して出願されました。

なお、出願後の5月20日～21日開催の「モバイルマルチメディア通信研究会」で発

表し好評を得ました。「ふとした思いつきから始まった研究でした。正直、特許出願にまで至るとは夢にも思っておりませんでした。研究発展へご指導いただきました速水治夫教授、服部哲准教授、出願でお世話になった大学関係者、応援してくれた家族、友人に心より御礼申し上げます。」と手塚さんは述べています。

【発明の名称】 「認証システム、シングルサインオンシステム、サーバ装置およびプログラム」



発明内容を説明する手塚悠太さん



モバイルマルチメディア通信研究会で発表

基礎教育支援センター

新任チューター紹介

数学担当 大嶋 啓子

大学で自分がどのように生活し、勉強をして行くかは、1年生の7月頃までである程度決まります。疑問を持ち、自分で考え、解決して行くことで、それぞれの分野でのプロとなるための力を付ける土台を築いて行きましょう。少しでもそのお手伝いが出来たらと願っています。建物と並木が調和した素晴らしい環境の中で、友達を作り、社会にも目を広げ、いろいろなことに挑戦してしなやかに大きな人間に成長して行って欲しいと思います。

物理担当 並河 絹江

支援センターまでの広いキャンパスを歩いていると、昔の大学生活を思い出します。問題が解けずにクラス全員で神田の古書店まで出向いたこともありました。勉強は最後は一人でするものですが、友人の考えや先生方の一言の中に新たな発想につながるものがいっぱいあります。支援センターが学生の皆さんと友人の方々にとって「知の広場」となるように、私も一緒に勉強していこうと思っています。多くの質問、ご相談をお寄せください。

化学担当 小川 修

最近、某雑誌の元編集長から本が売れないと聞いた。電車内を見ても、本を読んでいる人は少ないと思う。私は2・3年前、2千円余りの専門書を買うとき、躊躇したことを思い出した。居酒屋では2・3千円があつという間に飛んでいってしまう。こんなとき、ためらいは無い。場合によったら、専門書は一生ものかも知れない。知的なものに投資するのに抵抗があるのかもしれない。不思議な感覚だ。支援センターに着任し、久しぶりに専門書を買って、勉強を始めた。学生の皆さんとともにスキルアップしたいと思います。

文章表現担当 清水 眞澄

大学生活の中で、ノートをとる、レポートを書く、アルバイトに応募するなどの場面で、ちょっと困ったことはありませんか? 文章を手始めに、日本語の問題を応援します。でも私は、理系の大学は初めてです。最初の相談は、パイオの菌洗浄の実験レポートでした。正直、とても驚きました。でも今は学生の皆さんが実験や大学の話をしてくれるので、毎日が楽しみです。

学生相談室だより

「困らないための、ひと工夫」 学生相談室でお待ちしています

今年度もすでに3ヶ月が過ぎました。学業だけでなく、交友関係、学外の生活(一人暮らしの経験や、遠距離通学など)すべてが自身にとって大事なものだと思います。その中で悩みの無いことはありませんが、困って苦しい時間を長く続けるよりもできれば早く解決して楽しく生活したいですね。そのためのコツは、ひどく困る前に手を打ってみることで、その方法の一つは誰かに相談して早めに対処方法を見つけることです。本学の学生相談室は、学生の皆さんがひどく困らないために、あるいは苦しい状況から早く抜け出すために、どうしたらいいか一緒に考える場所です。

今年度の学生相談室の仲間新しく鳥海佳奈枝相談員が加わりました。とても明るくて気軽に相談ができる相談員です。相談室にはコミュニケーション・スペースという、のんびりとした時に過ごせるスペースもあります。まずどのようなところか見に行ってください。



学生相談室は新たなスタッフが加わり新年度をスタート

Doctor's Message

周囲の人と声を掛け合えるようになろう!

学生相談室 精神科医 市来 真彦

新年度となって数ヶ月が過ぎましたが、みなさんは朝きちんと起きられていますか? 睡眠不足だったりしていませんか? 日常生活リズム、特に睡眠は精神の安定に非常に重要な役割を果たしていますので、日常生活リズムや睡眠の乱れがある人は、病気の入り口にいるか、ひょっとすると病気の入り口をくぐってしまっているかもしれません。「まだ大丈夫!」とタカをくくっていないで、悪くならないうちに健康管理室や学生相談室に相談に来てみてください!

なぜ私がこのようなことをお話しするのか、種明かしをしましょう。以前にこのコーナーでも書きましたが、実は大学生という年齢は、いろいろな精神科の病気が起こりやすい時期なのです。精神疾患になってから病院にかかるまでの期間をDUP (Duration of Untreated Psychosis) と言って、DUPが長い人ほど病気の治りが悪い、と言われていています。日本ではこのDUPの平均は20ヶ月と言われていますが、平均が20ヶ月と言うことは、病気がなって20ヶ月以上もたってから医療機関に行く人もいるということですから、なぜそのように長くなってしまったのでしょうか?

風邪をひいたときのことを思い出せば分かると思いますが、人は「ちょっと具合が悪い」くらいでは病院に行ったりすることはありません。しかし「まだ大丈夫だろう」という様子を見すぎると、病気がこじれて悪化することがあります。それでも風邪を代表とする身体の病気であれば、ある程度病気が悪化したら自分で医療機関に行きたいと思えます。しかし精神疾患は、正しい判断をする脳自身がやられてしまう病気なので、ある程度を超えて病気が悪化してしまうと、自分で医療機関に行きたいと思わなくなってしまいます。ですから、ある程度具合が悪くなった場合は、周りの誰かに受診するよう声をかけてもらえるかどうか、重症化を防止できるかどうかを左右するということになります。(つづく)

KAITキャリア・アドバイザー室

新任アドバイザー紹介

三橋 信子

(アドバイザー業界)全般
(アドバイザー職種)全般
(業績)東京芝浦電気(株)/デジタル・イクイップメント/ダウケミカル(株)/
クライスラーコーポレーション

富田 和夫

(アドバイザー業界)情報産業業界
(アドバイザー職種)SE・情報全般
(業績)(株)菱友システムズ

野平 光三

(アドバイザー業界)電気機器業界・情報産業業界
(アドバイザー職種)開発技術・SE・営業
(業績)キヤノン(株)/キヤノンMJ(株)/WDBティエイス(株)/図研エルミック(株)

<キャリアアドバイザー制度>

本学の卒業生が多く就職する業界で活躍された方をアドバイザーとして迎え、業界の理解、職種の理解を深め、自分の適正に合った就職を実現してもらおうと設置された制度です。現在、5名のアドバイザーが豊富な経験に今後の状況分析など加えてアドバイスをを行っています。



工学教育研究推進機構

「環境対応型太陽エネルギー利用シンポジウム 2010 in 厚木」を開催

文部科学省の平成19年度ハイテク・リサーチ・センター整備事業として採択され、「環境対応型太陽光・熱エネルギー利用のための革新的システムの研究」と題して研究開発を進めており、その関連研究成果の発表と施設見学会を本学主催で厚木市、日本太陽エネルギー学会の後援により、情報学部棟メディアホールにて開催しました。地域の企業、お住まいの方々初め広い分野の方々にご参加いただき、活発な討議を行いました。また、あつぎ環境市民の会の協賛をいただき、講演、会の運営に多大なるご協力をいただきました。講演の後の見学会を含め112名の参加者がありました。

日にち：平成22年1月23日

主催：神奈川工科大学

後援：厚木市、日本太陽エネルギー学会 協賛：あつぎ環境市民の会



講演会の様子



壁面設置型太陽光発電パネルを見学

さまざまな展示会に参加・出展しました。

<ものづくりフォーラム in 昭島>

関東経済産業局青梅線沿線の三事業 健康福祉、特殊美術、計測・分析器をまとめたイベント

日にち：平成22年1月28日

会場：フォレスト・イン昭利館

主催：青梅線沿線地域産業クラスター

参加者：600名

本学からは、ロボット・メカトロニクス学科の研究テーマや研究成果を展示・講演により紹介しました。

<テクニカルショーヨコハマ2010>

神奈川県最大の工業技術・製品に関する総合見本市

日にち：平成22年2月3日～5日

会場：パシフィコ横浜展示ホール

主催：(財)神奈川産業振興センター、神奈川県、横浜市 他

参加者：28,000名

(展示)

「太陽熱利用サーモサイホンの研究」

自動車システム開発工学科 吉田・三浦研究室

「太陽光発電システムにおける新型最大電力追跡(MPPT)制御の研究」

電気電子情報工学科 板子研究室

(講演)

「光を用いた電子透かしによるセキュリティの技術」

情報ネットワーク・コミュニケーション学科 上平員丈教授

<川崎国際環境技術展>

川崎の環境への取組、および国内外の企業の有する優れた環境技術を広く世界に発信し、ビジネスマッチングの場を提供する展示会。

日にち：平成22年2月4日～5日

会場：とどろきアリーナ

主催：川崎国際環境技術展実行委員会

参加者：10,500名

(展示)

「加圧二酸化炭素を用いた地下水中のVOC回収システムの研究」

応用化学科 小島研究室

「自然エネルギーを利用した間歇給電式電気バスの研究」

機械工学科 川島研究室

附属図書館

平成22年4月1日、新蔵書検索システムが稼働

平成22年4月1日より、図書館の蔵書検索システムが新しくなりました。電子ジャーナル、電子ブックの一括検索、貸出更新や貸出履歴をWeb上で確認できるなど新機能が満載です。検索結果もより分かりやすく表紙画像が表示されます。進化し使いやすくなった、最新の図書館システムをぜひご活用ください。

詳しい操作説明などは、以下のページに掲載しています。こちらも合わせてご覧ください。

<http://www.kanagawa-it.ac.jp/~p3013/tos/newopac/newopac.htm> (学内限定)



第11回図書館総合展、神奈川県図書館協会ポスター展示で県内大学1位獲得

平成21年11月10日～12日、パシフィコ横浜で開催された第11回図書館総合展、神奈川県図書館協会ブースで行われた館内掲示アンケートで、本学図書館のポスターが「(1)印象に残ったポスター部門」「(2)参考にしたいポスター部門」にて、92作品中、総合3位、大学図書館では1位となりました。出展したポスターは、平成21年4月より館内各所に掲示しています。



図書館リニューアルのお知らせ

今期、図書館1階のリニューアル工事を予定しています。より親しみやすく、進化した図書館空間の実現を目指し現在準備を進めています。

新しい図書館にご期待ください。スケジュール等は、随時HP等でお知らせいたします。

国際センター

春季海外研修を実施

2010年2月～3月で以下の海外研修を実施いたしました。

海外自動車工学研修(イギリス)

海外機械工学研修I(アメリカ)

海外バイオ研修I(アメリカ)

海外情報メディア研修(アメリカ)

(関連記事を本誌裏表紙に掲載)



交換留学プログラム

台湾協定校(明道大学)より2名の交換留学生在が1年間の交換留学を開始しました。

留学生別科

4月生として、オランダ、ベトナム、中国より10名が入学しました。

本学では2010年度、留学生在が10ヶ国から合計116名となりました。

総務部

総務課

人事発令(平成22年4月1日付け)

<新規採用>

(教育職員)

工学部	機械工学科	教授(特任)	小林 修
工学部	電気電子情報工学科	准教授	瑞慶覧章朝
創造工学部	ロボット・メカトロニクス学科	准教授	大瀧 保明
情報学部	情報工学科	教授	田中 哲雄
情報学部	情報ネットワーク・コミュニケーション学科	准教授	岡本 学
情報学部	情報メディア学科	准教授	白井 暁彦
応用バイオ科学部	応用バイオ科学科	教授	局 俊明
応用バイオ科学部	栄養生命科学科	教授(特任)	江指 隆年
応用バイオ科学部	栄養生命科学科	教授(特任)	五十嵐 脩
応用バイオ科学部	栄養生命科学科	教授(特任)	田中 平三
応用バイオ科学部	栄養生命科学科	教授(特任)	石川 俊次
応用バイオ科学部	栄養生命科学科	教授(特任)	辻 悦子
応用バイオ科学部	栄養生命科学科	教授	真鍋 祐之
応用バイオ科学部	栄養生命科学科	准教授	原島恵美子
応用バイオ科学部	栄養生命科学科	准教授	飯島 陽子
応用バイオ科学部	栄養生命科学科	助教	楠木伊津美
応用バイオ科学部	栄養生命科学科	助手(任期制)	大森 由実
応用バイオ科学部	栄養生命科学科	助手(任期制)	山中千恵美
応用バイオ科学部	栄養生命科学科	助手(任期制)	河村 彩乃
応用バイオ科学部	栄養生命科学科	助手(任期制)	武藤 知衣
応用バイオ科学部	栄養生命科学科	助手(任期制)	渡邊 啓介
基礎・教養教育センター		准教授(任期制)	西野 晃徳
基礎・教養教育センター		准教授(任期制)	土谷 洋平

(嘱託職員)

安藤 正幸	入試広報部企画広報課
井上 昭男	学務部学生課
鳥海佳奈枝	学務部学生課 学生相談室

<准教授から教授へ昇任>

情報学部	情報メディア学科	教授	服部 元史
------	----------	----	-------

<講師から准教授へ昇任>

工学部	機械工学科	准教授	山岸 陽一
情報学部	情報ネットワーク・コミュニケーション学科	准教授	岡本 剛

<助教から准教授へ昇任>

工学部	機械工学科	准教授	佐藤 智明
-----	-------	-----	-------

<任期制助教から任期制准教授へ昇任>

工学部	応用化学科	准教授	森川 浩
情報学部	情報メディア学科	准教授	服部 哲

退職(平成22年3月31日付け)

<定年退職>

情報学部	情報工学科	教授	田端 邦晃
情報学部	情報ネットワーク・コミュニケーション学科	教授	小暮 仁
創造工学部	ロボット・メカトロニクス学科	教授	石井 博章
創造工学部	ホームエレクトロニクス開発学科	教授	秋山 勇治
応用バイオ科学部	応用バイオ科学科	教授	笹本 忠

<自己都合退職>

(教育職員)

工学部	電気電子情報工学科	教授	穴戸 文雄
情報学部	情報工学科	教授	野木 兼六
創造工学部	自動車システム開発工学科	助教	三浦 直勝

(事務職員)

総務部総務課			藤沢 佳美
--------	--	--	-------

理事会・評議員会報告

【理事会決議事項】平成22年3月23日私学会館にて開催

- (1)平成21年度補正予算案承認の件
- (2)平成22年度予算案承認の件
- (3)評議員12名選任の件
- (4)学則変更の件
- (5)大学院学則変更の件
- (6)諸報告の件

【評議員会審議事項】

- (1)平成21年度補正予算案の件
- (2)平成22年度予算案の件
- (3)諸報告の件

平成22年度 神奈川工科大学役員・評議員

役員(理事・監事)(平成22年4月1日現在)

理事長	中部 謙一郎
筆頭理事	高橋 正
理事・学長	小宮 一三
理事・副学長	松本 邦男
理事・副学長	森 武昭
理事	石上 純男
理事	河野 隆二
理事	谷村 浩二
理事	柴田 淳之助
理事	関 正
理事	後藤 至宏
監事	河田 清
監事	大西 興次郎

評議員(平成22年4月1日現在)

学長	小宮 一三	神奈川工科大学学長／(兼)理事
法人職員	柴山 隆之	工学部応用化学科教授
	中村 誠	情報学部情報ネットワーク・コミュニケーション学科教授 新任(平成22年4月1日付け)
	速水 治夫	情報学部情報メディア学科教授 新任(平成22年4月1日付け)
	遠藤 順一	創造工学部自動車システム開発工学科教授
	菊地 幹夫	応用バイオ科学部応用バイオ科学科教授
	山本 一雄	基礎・教養教育センター教授
	花山 政忠	財務部長
	久保田 昌彦	財務部管財担当部長
	前泊 哲明	キャリア就職センター専任部長
	塚田 博之	国際センター事務長
卒業生	伊藤 敏英	幾徳学園 同窓会長 高専第1期卒業(M)
	内山 洋司	筑波大学大学院システム情報工学研究科教授 高専第3期卒業(M)
	福島 洋一	摂津化成(株)東京営業所長 高専第6期卒業(C)
	中山 裕之	ソニー(株)半導体事業本部 大学第1期卒業(E)
	阿部 嗣	野村マイクロ・サイエンス(株) 大学第5期卒業(C)
	中部 謙一郎	(兼)理事長
	石上 純男	(兼)理事
	谷村 浩二	(兼)理事
	柴田 淳之助	(兼)理事
	関 正	(兼)理事
学識経験者	高島 浩	(元)常任理事
	青木 賢治	(元)マルハ(株)取締役副社長
	中部 由郎	大東通商(株)代表取締役社長
	青山 侑	明治大学大学院教授／元東京都副知事
	栗林 直幸	(元)農林中金総合研究所代表取締役社長
	前島 一夫	ピーロート・ジャパン(株)顧問
	松下 亮	(元)高砂熱学工業(株)常勤顧問
	高山 稔	(元)マルハニチロホールディングス相談役
	中谷 修己	(株)きんでん代表取締役副会長
	高野 角司	高野総合会計事務所代表
三島 吉夫	小田急電鉄(株)総務部・顧問	
富澤 昌美	(元)読売新聞東京本社事業局部長	

財務部

経理課

平成21年度各種補助金の交付状況

A.私立大学等経常費補助金特別補助

(単位:千円)

I.各大学等の特色を活かせるきめ細かな支援	補助金額
1.大学等の質保証メニュー	
1.大学教育の質向上への一体的な取組支援	29,349
2.教育・学習方法等改善支援(継続分)	31,951
2.学部教育の高度化・個性化支援メニュー	
1.単位互換の推進	2,087
2.インターンシップの推進	
3.高大連携の推進	
3.就学機会の多様化推進メニュー	
1.社会人の入学の推進	13,121
2.専門高校卒業者の入学の推進	
3.帰国学生の入学の推進	
4.障がい者の入学の推進	
4.大学院教育研究高度化支援メニュー	
1.大学院の基盤整備・拠点重点化支援	42,353
2.リサーチ・アシスタント、ポスト・ドクター等支援	3,834
3.ティーチング・アシスタント支援	8,210
5.先端的学術研究推進メニュー	
1.研究施設・設備等運営支援	87,332
2.教員の流動化促進支援	2,776
3.戦略的研究基盤形成支援事業(継続分)	40,556
6.地域活性化貢献支援メニュー	
1.総合的な地域活性化事業支援	7,610
2.地域共同研究支援	17,221
7.大学等の国際化推進メニュー	
世界を舞台に活躍する人材養成支援	5,747
8.高度情報化推進メニュー	
ICT活用教育研究支援	124,307
II.学生の経済的負担軽減のための支援	
授業料減免事業等学生支援経費	
学生支援(就職支援等)の取組に対する支援	179
計	418,831

B.私立大学等研究設備整備費等補助金・私立学校施設整備費補助金 (単位:千円)

区分 / 教育研究装置名	補助金額
(研究装置)感覚・認知行動測定システム	31,500
(研究設備)多機能超遠心機	11,200
(研究設備)薄膜微結晶Siタンデム型太陽光発電システム	6,666
計	49,366

入試広報部

企画広報課

刊行物のお知らせ



【2011年度版 大学総合案内】



【2011年度版 研究室ガイド】



【Campus Catalog KAIT施設案内】

学務部

学生課

学生健康診断の実施のご案内をお送りしました

毎年、本学では、学校保健法に基づいて在学生を対象にした健康診断を実施しています。今年は、6月5日2年生、6月12日3年生、6月19日1年生(大学院生は何れかの日を選択)。の日程で実施しました。また、4年生については、就職活動に必要なため、今年2月に早期実施済みですが、2月末受診者は何れかの日に受診するよう案内をしています。

健康診断の内容は、身長・体重・視力・尿検査・胸部間接撮影の基本的な項目ですが、疾病等の早期発見につながることもありまますし、自身の健康状態を知る上でも良い機会になると考えております。

今回の健康診断については、学生へ受診を促していただきたく保護者の皆様へ、ご案内を郵送させていただきました。

バイク通学者へ登録を促しています

本学は最寄の本厚木駅から遠隔地にあるためバイクでの通学を許可していますが、通学で利用するバイクの登録をする必要があります。全体で300~400台のバイク通学者がありますが、まだ半数の学生が未登録の状態です。そこで5月から集中的にバイク登録を促し、安全運転への注意を喚起しています。除々に登録者は増えていますが、バイク登録には、保証人の方の同意と免許証、自賠責保険、任意保険のコピーが必要です。任意保険はファミリー特約として自動車保険に付随している場合もありますし、付随していない場合は追加して申し込みをするか、新たに任意保険に加入していただくようお願いいたします。

大学指定寮の管理人と学生相談室との情報交換会を実施しました

5月27日、指定寮のオーナー・管理人の方々を大学に招き、学生相談室からの講話と情報交換会を実施しました。

はじめに、学生相談室の福井カウンセラーより、様々な悩みを抱える学生像の解説など、学生相談室で対応した事例などの講話があり、その後、指定寮のオーナー・管理人の方より寮生の様々な情報を伺いました。

今後も、大学と大学指定寮が連携することで、悩みを抱えた学生に対して早めの対応を行えるように定期的に情報交換を行ってまいります。

教務課

新年度オリエンテーションとプレイズメントテスト(新入生)を実施

■1年次生: 4月1日～4月5日

■プレイズメントテスト(1年次生): 4月2日

※新入生プログラムは、「履修案内」「時間割表作成・相談」「学生生活案内」「教職課程ガイダンス」「学芸員課程ガイダンス」「Stop the CO₂プログラム履修案内」など大学生活で重要な内容が説明されました。

■2・3年次生: 3月30日～3月31日

■4年次生: 3月31日

■新学期開講: 4月6日

■履修登録期間: 4月6日～4月14日

■前期・通年科目履修キャンセル: 5月7日～5月15日

※保証人の方々には、「履修&授業ガイドブック(抜粋版)」と「学生生活ハンドブック」(1年次生のみ)を送付し、学生と情報を共有していただいています。

教員採用試験対策室

平成22年3月卒業生等の教職への就職状況

今春の卒業生の教職への就職状況は、難関の公立学校採用試験を突破した4名(現役:2名、卒業生:2名)の他、県立・私立高校の臨時採用職員として19名が採用されました。臨時採用職員として採用された人の多くは、本年度の採用試験に挑戦するため学校で働きながら採用試験の準備を進めています。

●**県立高校教諭: 4名(卒業生2名を含む)(昨年度: 3名)**

県名: 神奈川県

教科: 工業(機械・電気・化学(2名))

学校名: 神奈川工業高校・商工高校・磯子工業高校・横須賀工業高校

●**県立高校臨時的任用職員: 14名(昨年度: 6名)**

府県名: 神奈川県(12名)・静岡県(1名)・京都府(1名)

教科: 工業(7名)(電気・機械・実習助手)・数学(1名)・理科(5名)(助手)・情報(1名)

学校名: 神奈川県立高校・平塚湘風高校・秦野高校・綾瀬高校・麻生総合高校・大和東高校・神奈川総合産業高校(定)・海洋科学高校・向の岡工業高校(定)・横須賀工業高校・平塚工科高校・小田原城北工業高校(全・定)・静岡県立磐田南高校・京都府立綾部高校東分校(定)

●**県立高校非常勤講師: 2名**

県名: 神奈川県

教科: 理科(化学)・情報

学校名: 横浜栄高校・相模原青陵高校

●**私立高校講師(常勤・准常勤・非常勤): 3名**

県名: 栃木県・神奈川県・静岡県

教科: 数学・理科・情報

学校名: 宇都宮短大附属高校(栃木県)・星槎国際高校(湘南校)(神奈川県)・星陵高校(静岡県)

平成22年度公立学校教員採用試験に向けて

各都道府県(市)の教員採用試験は地域ごとに概ね5ブロックに分かれ7月中に実施されますが、教員採用試験を受験する4年生の多くは受験の前の5月中旬～6月下旬にかけて教育実習をする必要があります。

そこで、教育実習に向けた対策とともに採用試験の受験に向けた対策として、4月下旬～6月末まで、次のような対策を実施しています。

●**模擬授業研究(43回)**

4月下旬～5月下旬の間、教員希望者だけでなく教育実習を行う4年生のほとんどが1～2回の模擬授業を実施しました。事前に作成した1単位時間の学習指導案に基づいた授業を行い、参加者とのディスカッションにより授業改善に役立てることができ、参加者は教育実習への不安を解消し自信を持って実習校に向いました。

●**学校見学(延べ4日)**

本年度の4年生から中学校の免許取得が可能になったため、新たに厚木市立厚木中学校に学校見学を依頼し、併せて厚木北高校・小田原城北工業高校を訪問し、先輩教員の授業(数学・理科・情報・工業)の見学と各教科の教員からのアドバイスなど教育実習周辺の学生にとって現場に密着した研修ができました。

●**専門教科演習(数学(週2回)理科・工業(電・機)・情報(それぞれ週1回))**

4月末から受験直前までの10週間、教科ごとに授業時間帯に組み入れ、受験する専門教科について出題傾向の分析の他、必要な知識の吸収のため講義形式で実施し、実力の養成と応用力の向上に役立てました。

●**一般教養演習(社会分野・一般・教職教養総合演習(それぞれ週1回))**

専門教科演習と同様に授業時間帯に組み入れ、社会分野では、過去の出題分野を分析し分野ごとの演習を行い、一般・教職教養総合演習では、1回の演習で教職教養の全分野及び一般教養の一部の教科の演習と解説を行い実力の養成を図りました。

4年生の教育実習が終了する6月末の1週間、採用試験直前の総まとめとして次の講座を実施し、受験者が準備を万全にできるよう支援します。

■**「直前対策講座」期間: 6/28～7/2 1日4講座 計20講座**

講師: 本学教職員及び教員出身講師

内容: 一般教養、教職教養、専門教科、論作文 等

平成23年度に向けた対策がスタートします

平成23年度の採用試験を受験する3年生にとっては、受験まで1年になりますので、平成22年度の受験対策と平行して、6月下旬に「教員採用試験スターティングガイダンス」を開催し、採用試験受験に向けた心構えの講義や1年間の対策スケジュールの内容などについてのガイダンスを行います。

●**連絡先**

電話: 046-291-3329 (ダイヤルイン)「教員採用試験対策室」
Eメール: kyoushoku@kait.jp (対策室専用メール)

●**教員採用試験対策室ホームページ**

<http://www.kait.jp/~kyoushoku/>

キャリア就職センター

昨年度からの世界経済の減速により、今年度も求人状況は大変厳しくなっております。

本学の求人状況も、昨年度同時期に比べ減少しており、多くの企業が経済状況をにらみながら採用活動を行っているようです。詳細な求人情報は、キャリア就職センターホームページ「KAIT NAVI」に随時更新しておりますので是非活用してください。

第3回合同企業説明会開催

厳しい状況のなか、危機感を持って就職活動している学生のために、第3回合同企業説明会を4月15日・16日に実施しました。悪天候にもかかわらず、参加学生は熱心に各ブースをまわって説明を聞いており、企業側からも好評をいただきました。

今年度もより多くの学生が内定を獲得できるよう、今後も積極的に説明会を開催していく予定です。

■**参加企業数202社**

会場: 本学第2体育館

開催日: 4月15日/参加企業: 76社

4月16日/参加企業: 126社

参加学生数: *2日間延べ859名

4月15日 404名

4月16日 455名

平成21年度就職状況

厳しい就職環境のなか、今年3月に卒業した学生の就職状況は、卒業生1008名のうち進学者275名(研究生を含む)、その他73名で就職希望者は660名でした。就職希望者のうち就職決定者は620名で就職率は93.9%(大学就職率91.8%)で終了しました。平成21年度は、急激な世界経済の減速のなか、大変健闘したと考えております。なお、残念ながら就職が決まらず、研究生になった学生には、フォローアップ講座を定期的に行い、就職活動のサポートを継続して行っています。

山岳地帯で小水力発電の実験

ホームエレクトロニクス開発学科 森武昭教授

ホームエレクトロニクス開発学科の森武昭教授は長年に渡り、山岳地帯での自然エネルギーの実用化について研究を進めています。4月、森研究室の学生と森教授は、標高約1500メートルの北アルプス上高地の、「上高地山岳研究所」において、ミニ水力発電の実験を行いました。川の主流から1秒間に5リットルほどの水をパイプで取水し、50メートルほど下に位置する設備へと水を流し、水車を回して発電するものです。

森教授が設計した上高地の発電機は1キロワットの出力があり、毎年、春から秋に稼働させて、研究所の照明などに利用されています。森教授は、信濃毎日新聞の取材に「学生は、自ら手がけた装置が山小屋で役立っていることを体験して、やりがいを得ている。」と話しています。

信濃毎日新聞／平成22年4月28日掲載

基礎教育支援センターの取り組みが新聞で紹介

教育開発センター 遠山紘司教授

基礎教育支援センターでは、学習が不足していた高校までの教科を個別で指導しています。教科は「数学」「物理」「化学」「英語」「電気・電子工学」「文章の書き方」で、基礎教育支援センターの年間利用者数は述べ6000名を超えています。入学当初、学力に不安を抱いていた学生も「学費免除で大学院に進学することができた」などの成果があったことや、センターの指導方針などについて、読売新聞の「大学の實力」のコーナーで紹介され、教育開発センターの遠山教授が取材を受けました。

読売新聞／平成22年4月29日・5月13日掲載

「出前講義」で燃料電池の仕組みを解説

応用化学科 伊熊泰郎教授

本学の教員が高校に出向き、講義を行う「出前講義」。静岡の高校で1年生を対象に行われたキャリア講座「夢未来塾」で、応用化学科の伊熊泰郎教授が「燃料電池と化学反応」をテーマに講義を行い、その様子が静岡新聞で紹介されました。この講義で伊熊教授は、酸化還元反応を起こすことで電子が移動し、電気エネルギーが得られるという燃料電池の仕組みを解説しました。その上で水素イオンだけを通す高分子電解質を使ったタイプ、酸素イオンだけを通す固体電解質を使った燃料電池を紹介しました。

静岡新聞／平成22年5月25日掲載

本学のモバイル学生証が新聞で紹介されました

本学のモバイル学生証に追加された「KAITクーポン」が新聞で紹介されました。

KAITクーポンは厚木市内の店舗の割引クーポンが発行されるシステムで、地元店舗と連携することで地域経済の活性化が期待されています。

日刊工業新聞／平成22年5月10日掲載・神奈川新聞／平成22年5月20日掲載

ロボットの楽しさを次世代に伝える関連イベント

ロボット・メカトロニクス学科

小学生や中学生などを対象としたロボット関連イベントに、ロボット・メカトロニクス学科の教員が積極的に関わっています。5月には、神奈川県立青少年センターとの共催で「科学のひろば」が行われました。「遊びを通してロボットを好きになる楽しさを次世代に伝えたい」と、若い世代に技術への関心を深めてもらうため、プログラム教室などのイベント開催の試みを続けていることが神奈川新聞で紹介されました。

神奈川新聞／平成22年5月23日掲載

科学技術イベントで、国内一般初公開

情報メディア学科 白井暁彦准教授

子どもたちが科学技術に触れるイベント「科学のひろば」が、神奈川県立青少年センターで開かれ、情報メディア学科の白井暁彦准教授の開発した、「スクリッター」が国内で初めて一般公開されました。スクリッターは、2台の映写機で異なる映像をスクリーンに投影し、偏光レンズ眼鏡を通してそれぞれの映像を個別に見ることが出来るものです。普及すれば、家族が1台のテレビで複数の番組が楽しめるようになるといえます。

公開されたスクリッターは、縦約1メートル50、横約2メートル50の大型スクリーンに、本学の紹介の映像と、市販のゲーム映像を同時に投影しました。本件は読売新聞で紹介されました。

読売新聞／平成22年5月23日掲載

留学生が小学生と異文化交流

本学に通う、留学生（ウガンダ、韓国、タイ、中国出身）らが、小学校に出向き、小学生と異文化交流を行ったことが

「タウンニュース」で紹介されました。この試みは、外国の文化に触れる機会を持ってもらうことを目的に3年前から実施されています。留学生からは出身国の位置や文化、日本との違いについて説明を行い、児童からは歌の披露が行われました。

タウンニュース／平成22年3月27日掲載

Formula SAE プロジェクト 2010 アメリカ大会に参戦!

神奈川工科大学のFormula SAEチームは、5月11日から15日まで、アメリカミシガン州インターナショナルスピードウェイで開かれた「2010 Formula SAE ミシガン」に参戦しました。



チルト試験の様子(車検)



アクセラレーション



チームメンバーの登録手続きの様子



デザイン審査



スキットバットスタート直前



UTAのチームとユニフォームを交換

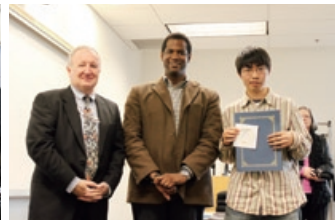
日本のOnly One,そしてNumber One Programを目指して! 神奈川工科大学 2009年度 春の海外研修

2月～3月の春期休業期間に、米国ワシントン州シアトルの協定校サウスシアトルコミュニティカレッジ、ワシントン州レッドモンドのデジベン工科大学、英国オックスフォードブルックス大学において、海外研修が行われました。

春季海外英語研修



参加者集合写真



修了証書授与

海外機械工学研修I

エンジン分解組立など実習を実施



海外バイオ研修I

DNAの制限酵素処理や解剖などが行われた



海外情報メディア研修

Game Developmentを主体とした演習を実施した



海外自動車工学研修

車両設計の座学やフォーミュラ車両を使った講義が行われた

